

HP704 HP702

Roland Digital Piano

取扱説明書

「動画マニュアル」にアクセスする。

クイック・スタート・ビデオをご覧ください。



QRコードが読めない場合は、こちらにアクセスしてください。

<http://roland.cm/hp700>

※ 字幕が表示されない場合は、YouTube 画面右下の字幕ボタンを押してください。
日本語字幕にするには、設定ボタンから「日本語」を選びます。



主な仕様

ローランド HP704、HP702：デジタル・ピアノ

	HP704	HP702
音源	ピアノ音：スーパーナチュラル・ピアノ・モデリング音源	
鍵盤	PHA-50 鍵盤：ハイブリッド構造 (木材×樹脂センターフレーム)、エスケープメント付、象牙調・黒檀調 (88 鍵)	PHA-4 スタンダード鍵盤：エスケープメント付、象牙調 (88 鍵)
Bluetooth	オーディオ：Bluetooth 標準規格 Ver 3.0 (SCMS-T 方式によるコンテンツ保護に対応) MIDI：Bluetooth 標準規格 Ver 4.0	
電源	AC アダプター	
消費電力	13W (12 ~ 30W)	5W (4 ~ 16W)
外形寸法 (専用スタンド込み)	譜面立てを含む： 1,377 (幅) × 468 (奥行) × 1,113 (高さ) mm 譜面立てを倒した場合： 1,377 (幅) × 468 (奥行) × 957 (高さ) mm	譜面立てを含む： 1,377 (幅) × 468 (奥行) × 1,067 (高さ) mm
質量 (専用スタンド込み)	鏡面モデル：61.0kg その他：59.5kg	54.4kg
付属品	取扱説明書、「安全上のご注意」チラシ、保証書、ローランド ユーザー登録カード、楽譜集「ローランド ピアノ名曲集」、AC アダプター、電源コード、ヘッドホン、ヘッドホン・フック、専用高低自在椅子	

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

HP704 HP702

Roland Digital Piano

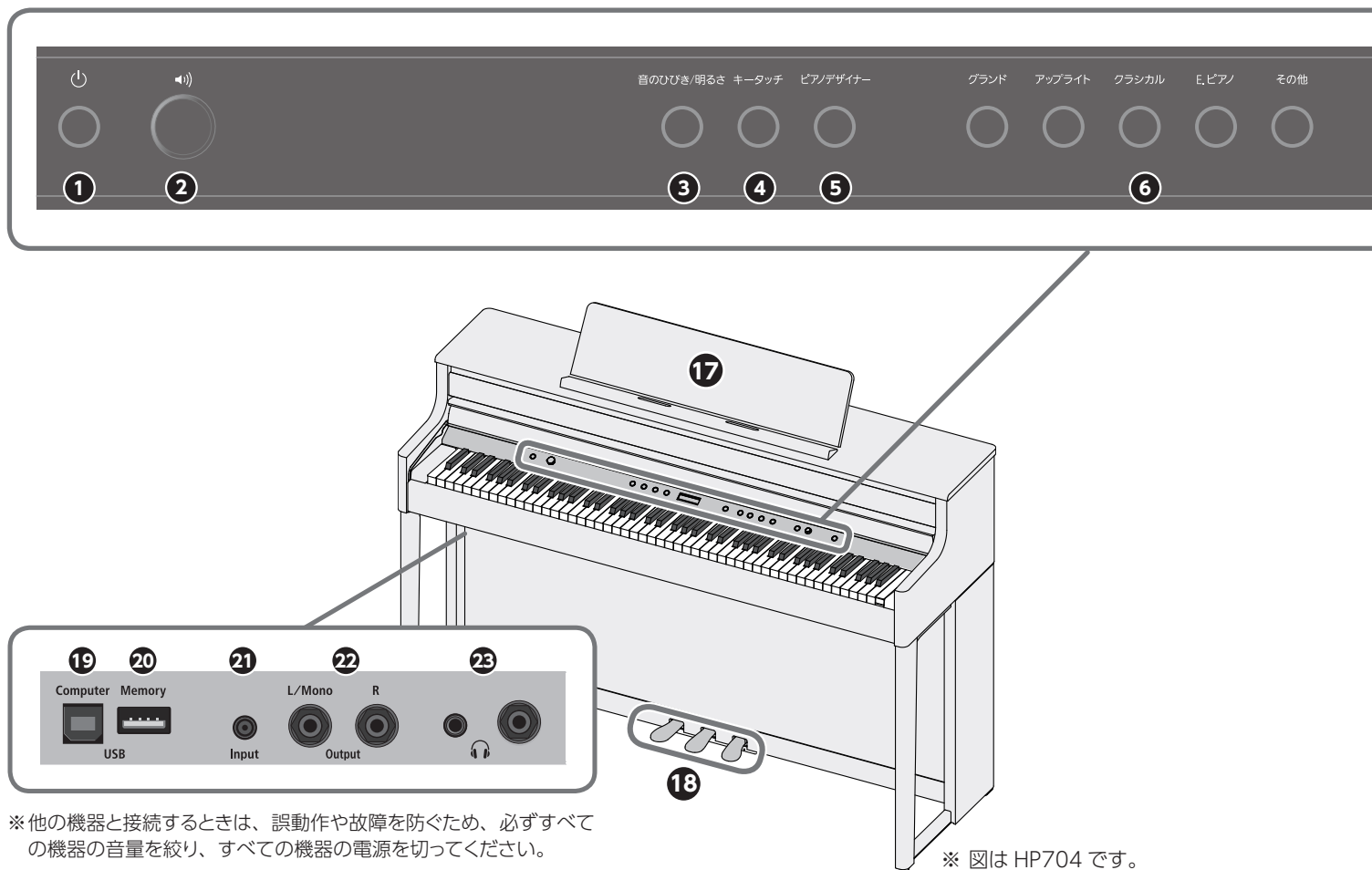
取扱説明書

目次

各部の名称とはたらき	4	いろいろな設定をする（ファンクション・モード）.....	22
演奏する前に	6	ファンクション・モードの基本設定	22
蓋を開ける（電源を入れる）.....	6	Bluetooth 機能をオン／オフする （Bluetooth オン／オフ）.....	22
譜面立てを使う	6	Bluetooth オーディオの音量を調節する （Input/Bluetooth ボリューム）.....	22
音の大きさを調節する	6	右手と左手を違う音色で演奏する（スプリット演奏）....	22
鍵盤のタッチ感を変える	6	1 つの鍵盤で 2 つの音色を重ねて演奏する （デュアル演奏）.....	22
ヘッドホンを使う	7	鍵盤を 2 つに分けて演奏する（ツインピアノ）.....	23
ペダルを使う.....	7	再生する曲を移調する（曲の移調）.....	23
機能を使うときの基本操作	7	曲（SMF）の音量を調節する（曲ボリューム SMF）....	23
電源を切る	7	曲（オーディオ）の音量を調節する （曲ボリューム AUDIO）.....	23
演奏する	8	オーディオ再生機器の音量を調節する （Input/Bluetooth ボリューム）.....	23
いろいろな音で演奏する	8	曲（SMF）再生時の鍵盤の音色を設定する （SMF 再生モード）.....	23
音色を選ぶ	8	ペダルの効果のかけかたを変える（右ペダルパート）...	24
右手と左手を違う音色で演奏する	8	ペダルのはたらきを変える（中央ペダル機能）.....	24
1 つの鍵盤で 2 つの音色を重ねて演奏する	9	ペダルの効果のかけかたを変える（左ペダル機能）....	24
音の響き / 明るさを調節する	9	シーケンサーとつないだときの 2 度鳴りを防ぐ （ローカルコントロール）.....	24
メトロノームを使って練習する	10	MIDI 送信チャンネルを変える（MIDI 送信チャンネル）.	24
曲を聴く.....	11	ディスプレイに表示される言語を変える （言語（Language））.....	24
曲を再生する.....	11	ディスプレイの明るさを調節する （ディスプレイコントラスト）.....	25
演奏を録音する	12	操作パネルが暗くなるまでの時間を設定する （スクリーンセーバー）.....	25
鍵盤で弾いた曲を録音する	12	音量の最大値を設定する（ボリュームリミット）.....	25
録音の準備	12	蓋を閉めたときに電源をオフにする （鍵盤蓋による電源オフ）.....	25
録音を始める／止める.....	12	一定時間が経つと自動で電源が切れるようにする （オートオフ）.....	25
録音した演奏を聴く	12	自動で設定を保存する（自動メモリーバックアップ）....	25
録音した曲を削除する.....	12	電源を入れ直しても記憶している設定	26
さらに進んだ録音方法	13	故障かな?と思ったら	27
片手ずつ演奏を録音する.....	13	こんな表示が出たら（エラー・メッセージ）.....	29
録音した演奏に重ねて録音する.....	13	音色一覧	30
USB メモリーにオーディオ録音する.....	14	内蔵曲一覧	32
好みのピアノの音を作る（ピアノデザイナー）.....	15	安全上のご注意	34
ピアノ全体の音の調節をする.....	15	使用上のご注意	35
グランドピアノ音色を調節する.....	16		
ピアノとモバイル機器を Bluetooth でつなぐ.....	17		
こんなことができます	17		
設定手順	17		
ピアノのスピーカーで音楽を鳴らす.....	17		
ピアノをアプリと一緒に使う.....	18		
アプリと一緒に使う Bluetooth 接続ができないときは?....	19		
便利な機能	20		
ピアノの設定を読み込む／保存する	20		
ピアノの設定を保存する（ピアノ設定の保存）.....	20		
ピアノ設定を読み込む（ピアノ設定の読込）.....	20		
メモリーを初期化する（メディアのフォーマット）.....	21		
お買い上げ時の設定に戻す（ファクトリーリセット）.....	21		

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」と「使用上のご注意」（『安全上のご注意』チラシと取扱説明書（P.34、P.35））をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

各部の名称とはたらき



※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞りと、すべての機器の電源を切ってください。

1 [⏻] (電源) ボタン

電源をオン/オフします。(P.6)

※ このピアノは、蓋の開け閉めでも電源のオン/オフができます。

2 [🔊] (音量) つまみ

ピアノ全体の音量を調節します。

鍵盤を弾くときや曲を再生するときの音量を調節します。

ヘッドホンを接続しているときは、ヘッドホンの音量を調節します。(P.6、P.7)

3 [🔊] (音のひびき / 明るさ) ボタン

音にコンサート・ホールで演奏しているような響きをつけます。また、鍵盤を弾いたときや曲を再生したときの、音の明るさを調節します。(P.9)

4 [👆] (キータッチ) ボタン

鍵盤を弾いたときの手応え (タッチ感) を変えます。(P.10)

5 [🎹] (ピアノデザイナー) ボタン

ピアノのさまざまな音の要素を調節して、好みのピアノの音を作ることができます。(P.15)

6 音色ボタン

鍵盤で鳴らす音色を選びます。(P.8)

7 ディスプレイ

音色名、曲名、テンポ、拍子などを表示します。

8 [↕] (選択 / 決定) つまみ

画面に表示されている項目や値を変更したり、決定したりします。(P.7)

つまみを回す	項目 / 値を変更する
つまみを押す	決定する

9 [↶] (戻る) ボタン

ひとつ前の画面に戻ったり、現在の画面から抜けたりします。(P.7)

10 [🔄] (曲) ボタン

再生する内蔵曲や録音した演奏を選びます。(P.11)

11 [▶/■] (再生 / 停止) ボタン

曲の再生 / 停止や、録音の開始 / 停止をします。(P.11、P.12)

12 [●] (録音) ボタン

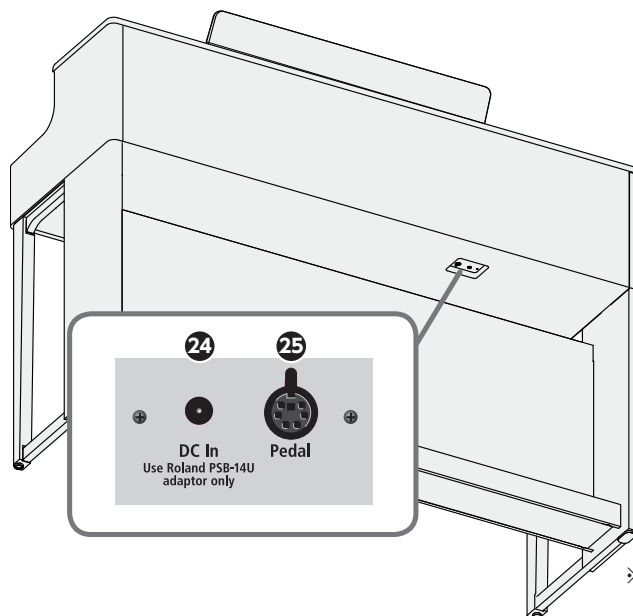
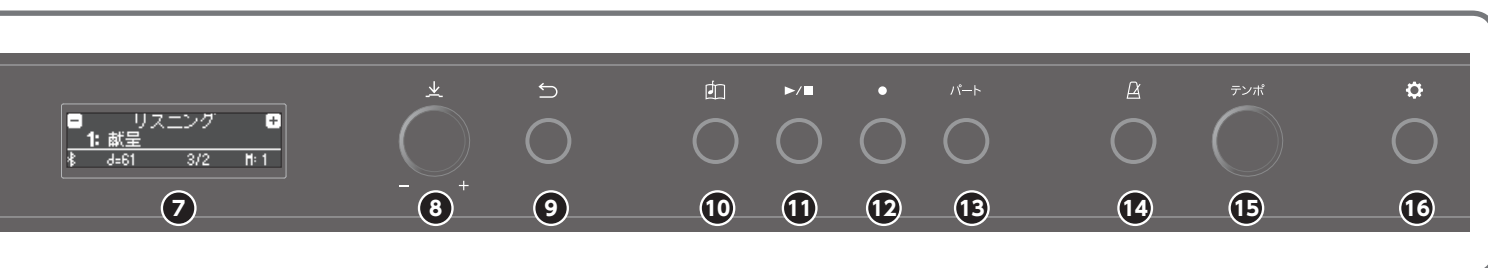
自分で弾いた演奏を、録音します。(P.12)

13 [パート] ボタン

内蔵曲の演奏パート (右手 / 左手 / 伴奏) を選んで再生できます。また、パートを分けて録音することもできます。(P.11、P.13)

14 [⏮] (メトロノーム) ボタン

メトロノームをオン/オフします。(P.10)



※ 図は HP704 です。

15 [テンポ] つまみ

メトロノームや曲のテンポを変更します。右に回すとテンポが速くなり、左に回すと遅くなります。また、長押しすると初期値に戻ります。

- メトロノームのテンポを変える (P.10)
- 曲のテンポを変える (P.11)

16 [⚙️] (設定) ボタン

いろいろな設定を変更できるファンクション・モードに入ります。(P.22)

17 譜面立て

楽譜を置きます。(P.6)

18 ペダル

ペダルを踏むと、ピアノの音に効果を加えることができます。また、さまざまな機能を割り当てて使うことができます。

- ピアノの音に効果を加える (P.7)
- ペダルに機能を割り当てて使う (P.24)

19 USB Computer 端子

パソコンとつなぐための USB ケーブル (市販) を接続します。パソコンのシーケンサー・ソフトウェア (別売) と演奏情報をやりとりして、音楽制作や編集などをすることができます。

20 USB Memory 端子

USB メモリーを挿します。ピアノの演奏をオーディオ録音したり、USB メモリーに保存してある音楽データ (WAVE ファイル / MIDI ファイル / MP3 ファイル) をピアノで再生したりします。(P.14、P.11)

21 Input 端子

iPod などのオーディオ・プレーヤーとつなぐための、ステレオ・ミニプラグ・ケーブル (市販) を接続します。オーディオ・プレーヤーで再生した音を、ピアノのスピーカーから鳴らすことができます。また、再生した曲に合わせてピアノを演奏することができます。

22 Output 端子 (L/Mono、R)

外部スピーカーとつなぐための、モノラル標準プラグ・ケーブル (市販) を接続します。ピアノの音を大音量で鳴らせるため、大人数を前に演奏する場合に便利です。

23 ヘッドホン端子

ステレオのヘッドホンを接続します。このピアノにはヘッドホン端子が 2 つあるので、2 人同時にヘッドホンを使うことができます。(P.7)

24 DC In 端子

付属の AC アダプターを接続します。

25 ペダル端子

ペダル・コードを接続します。

演奏する前に

蓋を開ける（電源を入れる）

このピアノは、蓋の開け閉めだけで電源をオン／オフすることができます。

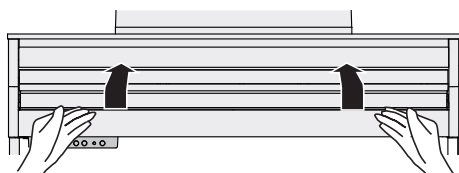
※ 蓋を開けたまま、[ON] ボタンを押して電源をオン／オフすることもできます。

※ 電源が入る／切れるときに音がすることがありますが、故障ではありません。

※ ピアノに外部スピーカーなどの機器を接続している場合は、蓋を開ける前に機器の音量を最小にしてください。

1. 蓋を開けます。

蓋を開けるときは、両手で軽く持ち上げ、奥にスライドさせます。



※ 蓋を開閉するときは、可動部と本体の間に指をはさまないようにしてください。お子様のいる場所で使用する場合はご注意ください。

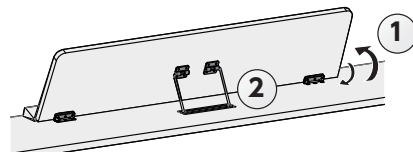
蓋で操作パネルを見えなくする (アコースティック・ポジション)

蓋をゆっくり開けると、ボタンやディスプレイが隠れる位置で止まります。蓋で操作パネルを覆うことで、アコースティック・ピアノを弾いているような感覚で演奏できます。蓋をさらに奥に押し上げると、操作パネルが見える位置で止まります。



譜面立てを使う

HP704 のみ



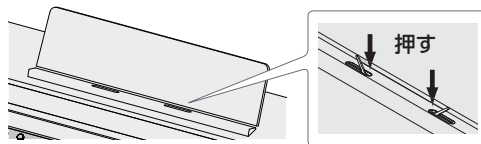
1. 譜面立てを静かに起こします。

2. 譜面立てがお好みの角度になるように、金具をいずれかの溝に合わせます。

長い溝が標準位置です。

3. 譜面押さえを立てます。

楽譜のページを押さえることができます。使用しないときは、譜面押さえを倒しておきます。



※ 譜面立てを立てたり倒したりするときは、可動部と本体の間に指をはさまないようにしてください。お子様のいる場所で使用する場合はご注意ください (HP704 のみ)。

音の大きさを調節する

[🔊] つまみを回して音の大きさを調節します。

スピーカーの音量とヘッドホンの音量は、別々に設定することができます。



[🔊] つまみを回す	右に回すと音が大きくなり、左に回すと音が小さくなります。
[🔊] つまみを押す	画面にボリュームの現在値を表示します。

オートオフ機能について

このピアノは、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます (オートオフ機能)。

自動的に電源が切れないようにするには、オートオフ機能を解除してください (P.25)。

※ 電源が切れると編集集中の設定は失われます。残しておきたい設定はあらかじめ保存しておいてください (P.26)。

※ 電源を再びオンにするときは、電源を入れ直してください。

ヘッドホンを使う

周囲に音が漏れないように演奏したい場合は、ヘッドホンを使います。このピアノにはヘッドホン端子が2つあるので、2人で同時にヘッドホンを使うこともできます。

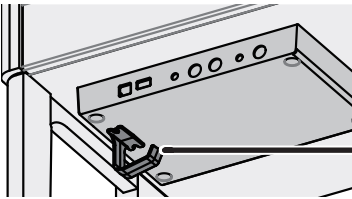
1. ヘッドホンをヘッドホン端子に差し込みます。

ヘッドホンを接続すると、本体スピーカーからは音が鳴らなくなります。

2. ヘッドホンの音量を、[🔊] つまみで調節します。

メモ

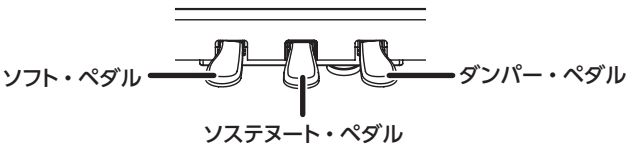
ヘッドホンを使わないときは、ヘッドホン・フックにかけておくことができます。



ヘッドホン・フック

ペダルを使う

ペダルを踏むと、ピアノの音に効果を加えることができます。

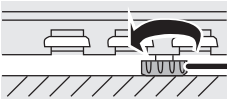


ダンパー・ペダル (右)	音に余韻を与えます。このペダルを踏んでいる間、鍵盤から指を離しても音が切れずに長い余韻が続きます。踏む深さによって、音の響きが変わります。
ソステヌート・ペダル (中央)	このペダルを踏んだときに押えていた鍵盤の音だけに余韻を与えます。
ソフト・ペダル (左)	音に柔らかさを与えたいときに使います。このペダルを踏んだまま鍵盤を弾くと、通常同じ強さで弾いたときの音よりも柔らかい音が出ます。踏む深さによって、音の柔らかさが微妙に変わります。

※ ペダルを操作するときは、可動部と本体の間に指をはさまないようにしてください。お子様のいる場所で使用する場合はご注意ください。

注意

ペダルの下には、ペダルを固定するアジャスターがあります。使用するにつれてアジャスターが上がり、ペダルを踏んだときにぐらつくことがあります。この場合は、アジャスターを回して下げ、床に当たるように調節してください。特にカーペットの上に設置するときは、床を押しつけるぐらいに下げてください。



アジャスター

機能を使うときの基本操作

このピアノの機能を使うときは、[🔍] (選択/決定) つまみと [↩] (戻る) ボタンで操作します。



画面に表示される項目/値を変更する	[🔍] つまみを回す
決定する	[🔍] つまみを押す
1 つ前の画面に戻る/現在の画面から抜ける	[↩] ボタンを押す
値を初期値に戻す	[🔍] つまみを長押しする

電源を切る

1. [🔌] ボタンを長押しします。

- ※ このピアノは、蓋を閉めるだけでも電源をオフできます。
- ※ 電源をオフしたあと、10 秒間は電源コードを抜かないください。システム処理中に電源コードを抜くと、不具合の原因となることがあります。

注意

蓋や鍵盤の隙間から、楽譜などの紙や異物がピアノ内に入り込まないようにご注意ください。また、蓋の上に紙を置いたまま、蓋を開けないでください。取り出せなくなり、故障の原因になります。



いろいろな音で演奏する

音色を選ぶ

このピアノでは、ピアノやピアノ以外のさまざまな音で演奏を楽しむことができます。音色には5つのグループがあり、それぞれ音色ボタンを押して選びます。

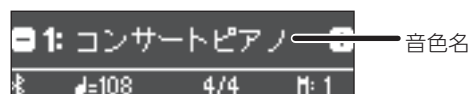
➡ 「音色一覧」(P.30)

音色のグループ

音色ボタン	説明
グランド	グランドピアノの音色
アップライト	アップライトピアノの音色
クラシカル	チェンバロやフォルテピアノの音色
E. ピアノ	エレクトリック・ピアノの音色
その他	弦楽器、オルガン、ドラムなどのさまざまな音色 ※音のうねり（ロータリー効果）がかかるオルガン音色を選んでいるときに「その他」ボタンを押すと、うねりの速さを変えることができます。

1. 音色ボタンを押します。

音色のグループが選ばれます。現在選ばれている音色名が表示されます。



2. [♪] つまみを回します。

音色グループ内の他の音色が選べます。

「その他」ボタンの音色を選ぶ場合



[♪] つまみを回す	次の音色が選べます。 カテゴリ内の最後の音色までいくと、次のカテゴリの音色が選べます。
[♪] つまみを押す	音色カテゴリが選ばれます。[♪] つまみを回すと、他のカテゴリに変更できます。

右手と左手を違う音色で演奏する

ある鍵を境に鍵盤の右側と左側を違う音色で演奏することができます。このような演奏を「スプリット演奏」といい、鍵盤が分かれる位置を「スプリット・ポイント」といいます。

1. [☆] ボタンを押します。

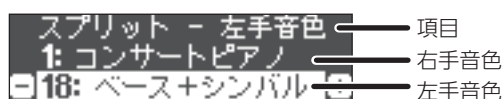
[☆] ボタンが点灯し、ファンクション・モードになります。

2. [♪] つまみを回して、「鍵盤モード」画面を表示させます。

3. [♪] つまみを押して決定し、[♪] つまみを回して「スプリット」を選びます。

4. [☆] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。

スプリット画面が表示されます。



電源投入時、右手音色は「コンサートピアノ」、左手音色は「ベース+シンバル」が選ばれています。

スプリットがオンになると、鍵盤設定は以下ようになります。



5. スプリット演奏を終了するときは、[☆] ボタンを押してファンクション・モードに入り、「鍵盤モード」を「全鍵」にします。

スプリット演奏の設定を変更する

以下の設定は、スプリット画面を表示した状態で操作します。

	操作方法
左手音色を変える (スプリット-左手音色)	1. 音色ボタンを押す。 音色グループが選ばれます。 2. [♪] つまみを回して、音色を選ぶ。 ※ 左手音色に「グランド」ボタンの音色を選ぶと、聞こえかたが変わります。
右手音色を変える (スプリット-右手音色)	1. [♪] つまみを押して、画面の最上段に「-」「+」を表示させる。 2. [♪] つまみを回して、「右手音色」を表示させる。 3. [♪] つまみを押して、決定する。 4. 音色ボタンを押す。 音色グループが選ばれます。 5. [♪] つまみを回して、音色を選ぶ。
音色が分かれる位置 を変える (スプリット-ポイント)	1. [♪] つまみを押して、画面の最上段に「-」「+」を表示させる。
左手音色／右手音色の 音量バランスを変える (スプリット-バランス)	2. [♪] つまみを回して、設定したい項目の画面を表示させる。
左手音色／右手音色 のオクターブを変える (スプリット-左手/右手シフト)	3. [♪] つまみを押して、決定する。 4. [♪] つまみを回して、変更したい設定値を選ぶ。

1つの鍵盤で2つの音色を重ねて演奏する

1つの鍵盤で、2つの音色を重ねて演奏することができます。このような演奏を「デュアル演奏」といいます。

1. [☆] ボタンを押します。

[☆] ボタンが点灯し、ファンクション・モードになります。

2. [♪] つまみを回して、「鍵盤モード」画面を表示させます。

3. [♪] つまみを回して決定し、[♪] つまみを回して「デュアル」を選びます。

4. [☆] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。

デュアル画面が表示されます。



電源投入時、音色1は「コンサートピアノ」、音色2は「スロー Str1」が選ばれています。

5. デュアル演奏を終了するときは、[☆] ボタンを押してファンクション・モードに入り、「鍵盤モード」を「全鍵」にします。

デュアル演奏の設定を変更する

以下の設定は、デュアル画面を表示した状態で操作します。

	操作方法
音色2を変える (デュアル-音色2)	1. 音色ボタンを押す。 音色グループが選ばれます。 2. [♪] つまみを回して、音色を選ぶ。 ※ 音色2に「グランド」ボタンの音色を選ばると、聞こえかたが変わります。
音色1を変える (デュアル-音色1)	1. [♪] つまみを回して、画面の最上段に「-」[+]を表示させる。 2. [♪] つまみを回して、「音色1」を表示させる。 3. [♪] つまみを回して、決定する。 4. 音色ボタンを押す。 音色グループが選ばれます。 5. [♪] つまみを回して、音色を選ぶ。
2つの音色の音量バランスを変える (デュアル-バランス)	1. [♪] つまみを回して、画面の最上段に「+」[-]を表示させる。 2. [♪] つまみを回して、設定したい項目の画面を表示させる。
2つの音色のオクターブを変える (デュアル-音色1 / 音色2 シフト)	3. [♪] つまみを回して、決定する。 4. [♪] つまみを回して、変更したい設定値を選ぶ。

音の響き / 明るさを調節する

音にコンサート・ホールで演奏しているような響きをつけます。また、鍵盤を弾いたときや曲を再生したときの、音の明るさを調節します。

1. [音のひびき / 明るさ] ボタンを押します。

2. [♪] つまみを回して、設定したい項目の画面を選びます。

3. [♪] つまみを回して決定し、[♪] つまみを回して設定値を選びます。

音のひびき	数字が大きいほど音の響きが深くなり、数字が小さいほど音の響きは浅くなります。 ※ オーディオ・ファイルに「音のひびき」効果はかかりません。 設定値: 0 ~ 10 (初期値: 2)
音の明るさ	数字が大きいほど明るい音になります。 設定値: -10 ~ 10 (初期値: 0)
ヘッドホン 3D アンビエンス	ヘッドホン使用時でも、ピアノ本体から音が聞こえるような効果をつけることができます。 ※ 「ヘッドホン 3D アンビエンス」効果は、ピアノ音色以外には効きません。 ※ オーディオ・ファイルに「ヘッドホン 3D アンビエンス」効果はかかりません。 設定値: オフ、オン (初期値: オン)

4. 設定を終了するときは、[音のひびき / 明るさ] ボタンを押します。

[音のひびき / 明るさ] ボタンが消灯します。

音名 (C4 など) の読みかた

「スプリット・ポイント」などの設定値のアルファベットは、音名を表しています。A = ラ、B = シ、C = ド・・・G = ソになります。たとえば、「C4」の場合は、鍵盤の左端から「4番目のド」を表します。



メトロノームを使って練習する

メトロノームを鳴らしながら、練習することができます。

1. [A] ボタンを押します。

[A] ボタンが点滅し、メトロノームが鳴ります。

メモ

曲の再生中は、メトロノームはその曲のテンポや拍子に合わせて鳴ります。

2. テンポを変えるときは、[テンポ] つまみを回します。

3. 拍子を変えるときは、「拍子」画面で [⌵] つまみを押し決定してから、[⌵] つまみを回して選びます。

設定できる拍子	2/2、3/2、2/4、3/4、4/4、5/4、6/4、7/4、3/8、6/8、8/8、9/8、12/8 (初期値：4/4)
---------	---

4. メトロノームを止めるときは、もう一度 [A] ボタンを押します。

[A] ボタンが消灯します。

メトロノームの設定を変更する

以下の設定は、[A] ボタンがオンの状態で操作します。

	操作方法
拍子を変える	
1 拍目の強い音(強拍)を鳴らさない	1. [⌵] つまみを押し、画面上段に「-」「+」を表示させる。
メトロノームのパターンを変える	2. [⌵] つまみを回して、設定したい項目の画面を表示させる。
メトロノームの音量を変える	3. [⌵] つまみを押し、決定する。
メトロノームの音色を変える	4. [⌵] つまみを回して、変更したい設定値を選ぶ。

鍵盤のタッチ感を変える

鍵盤を弾いたときの手応え(タッチ感)を、好みに合わせて変更することができます。

1. [キータッチ] ボタンを押します。

2. [⌵] つまみを回して、値を選びます。

50 (初期値)	アコースティック・ピアノに一番近いタッチです。
1 ~ 100	値が大きくなるほど、鍵盤が重く感じられます。
Fix (固定)	鍵盤を弾く強さに関係なく、一定の音量で音が鳴ります。

3. 設定を終了するとき、[キータッチ] ボタンを押します。

[キータッチ] ボタンが消灯します。

曲を再生する

内蔵曲を聴いてみましょう。お手本演奏として聴いたり、内蔵曲に合わせて片手ずつ練習したりすることができます。

➔ 「内蔵曲一覧」(P.32)

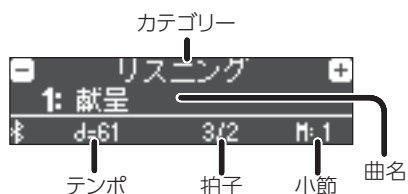
曲のカテゴリー

カテゴリー	説明
リスニング	リスニングにおすすめのピアノ曲
アンサンブル(*)	クラシックを中心とした名曲。ピアノ協奏曲、連弾、クラシックのジャズ・アレンジなども楽しめます。弾きごたえのある曲を集めましたので、中級レベル以上の方におすすめです。
エンターテイメント(*)	ポップス、ジャズ、童謡、世界の名曲など、初心者から上級者まで幅広い方に楽しんでいただけるアレンジになっています。
ドレミでうたおう(*)	曲に合わせてドレミで歌ったり、楽譜を読む練習をしたりして音楽の基礎を学びます。
スケール(*)	スケール全調(メジャー・スケール、マイナー・スケール)
ハノン	ハノン・ピアノ教本より第1～20番
バイエル	バイエル・ピアノ教則本第1～106番
ブルグミュラー	ブルグミュラー 25 の練習曲
ツェルニー 100 番	ツェルニー 100 番の練習曲
USB メモリー	USB メモリーに保存した曲
内部メモリー	内部メモリーに保存した曲

(*) 同梱の楽譜集「ローランド ピアノ名曲集」に対応しています。
著作権の都合上、「エンターテイメント」カテゴリーの一部の楽曲は楽譜集に掲載されていません。

1. [F4] ボタンを押します。

曲画面が表示されます。



2. [F2] つまみを回して曲のカテゴリーを選び、[F1] つまみを押して決定します。

3. [F2] つまみを回して、曲名を選びます。

カテゴリー内の曲名が選べます。

メモ

曲のカテゴリーを選び直す場合は、[F3] ボタンを押します。

4. [▶/■] ボタンを押します。

曲が再生されます。

5. 曲を止めるときは、もう一度 [▶/■] ボタンを押します。

[▶/■] ボタンが消灯します。

6. 曲の設定を終了するときには、[F4] ボタンを押します。

[F4] ボタンが消灯します。

曲の再生のしかたを変更する

	操作方法
演奏パートごとに再生する	内蔵曲は3つのパート(右手、左手、伴奏)で構成され、聴きたいパートだけを再生することができます。 ※左手パートや伴奏パートがない曲もあります。その場合は該当パートを選べません。 1. [パート] ボタンを押す。 2. [F2] つまみを回して、消音するパートを選ぶ。 3. [F2] つまみを押して、決定する。 選んだパートが消音します。 4. [▶/■] ボタンを押す。 聴きたいパートのみ再生されます。
曲のテンポを変える	1. [テンポ] つまみを回す。 メモ [テンポ] つまみを長押しすると、テンポの初期値に戻ります。
曲のテンポを一定にして再生する	曲の再生に合わせて練習するときに便利です。 1. [▶/■] ボタンを押しながら [テンポ] つまみを回す。 2. 「オン」を選ぶ。
再生する小節を選ぶ	1. 「曲を再生する」の手順1～3をする。 2. [F2] つまみを押す。 小節画面が表示されます。 3. [F2] つまみを回して、再生する小節数を選ぶ。 4. [▶/■] ボタンを押す。 指定した小節から曲を再生します。 メモ • [F2] つまみを長押しすると、曲の先頭が選ばれます。 • [F3] ボタンを押すと、曲を選ぶ画面に戻ります。
カウントを鳴らしてから曲を再生する	1. [F4] ボタンを押しながら [▶/■] ボタンを押す。
カテゴリー内の曲を全曲再生する	1. [F4] ボタンを押しながら [▶/■] ボタンを押す。
曲の調を変えて再生する	1. [F4] ボタンを押す。 [F4] ボタンが点灯し、ファンクション・モードになります。 2. [F2] つまみを回して、「曲の移調」画面を表示させる。 3. [F2] つまみを押して、決定する。 4. [F2] つまみを回して、移調する半音の値を選ぶ。 5. [▶/■] ボタンを押す。 曲が移調して再生されます。
USB メモリーのフォルダー内にある曲を再生する	1. [F4] ボタンを押し、[F2] つまみを回して「USB メモリー」を表示させる。 2. [F2] つまみを押して、決定する。 フォルダーに入る 3. [F2] つまみを回して、該当のフォルダーを選ぶ。 4. [F2] つまみを押して、決定する。 フォルダーから抜ける 5. [F2] つまみを左に回して、「上」を選ぶ。 6. [F2] つまみを押して、決定する。

演奏を録音する

鍵盤で弾いた曲を録音する

自分で弾いた演奏を録音し、再生して確認することができます。

録音の準備

1. 演奏する音色を選びます。
2. 必要に応じてメトロノームを鳴らします。
メトロノームのテンポや拍子を設定します。メトロノームの設定は曲に記憶され、再生時も同じ設定で鳴らすことができます。
3. [●] ボタンを押します。
[●] ボタンが点灯、[▶/■] ボタンが点滅し、録音待機状態になります。
録音を中止するときは、もう一度 [●] ボタンを押します。

録音を始める／止める

4. [▶/■] ボタンを押します。
1 小節のカウントが鳴ってから録音が始まり、[●] ボタンと [▶/■] ボタンの両方が点灯します。演奏は自動で保存されます。
- メモ**
- [▶/■] ボタンを押す代わりに、鍵盤を弾いて録音を始めることもできます。この場合カウントは鳴りません。
5. 録音を止めるときは、もう一度 [▶/■] ボタンを押します。
録音が止まります。

録音した演奏を聴く

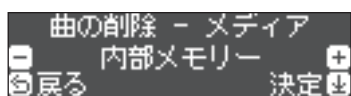
6. [▶/■] ボタンを押します。
演奏後は、録音した曲が選ばれています。
録音した曲の再生が始まります。

録音した曲を削除する

保存した曲を削除することができます。

- メモ**
- 録音した曲の削除は、[●] ボタンを押しながら [↵] ボタンを押す操作でもできます。
 - 内部メモリーに保存されている曲をすべて削除するときは、内部メモリーを初期化してください。（「メモリーを初期化する（メディアのフォーマット）」（P.21））

1. [✱] ボタンを押します。
[✱] ボタンが点灯し、ファンクション・モードになります。
2. [↵] つまみを回して、「曲の削除」画面を表示させます。
3. [↵] つまみを押して、決定します。
曲の削除画面が表示されます。



4. 保存されているメディアを [↵] つまみを回して選び、[↵] つまみを押して決定します。

5. 削除する曲を [↵] つまみを回して選び、[↵] つまみを押して決定します。

確認メッセージが表示されます。



削除をやめるときは、[↵] ボタンを押します。

6. [↵] つまみを回して「はい」を選び、[↵] つまみを押して決定します。
削除が実行されます。

録音した曲を管理する

操作方法									
録音した曲の名前を変更する	保存した曲の名前を変更することができます。								
	1. [⊗] ボタンを押す。 [⊗] ボタンが点灯し、ファンクション・モードになります。								
	2. [↵] つまみを回して「曲の名前変更」画面を表示させ、 [↵] つまみを押して決定する。								
	3. [↵] つまみを回して変更する曲のメディアを選び、[↵] つまみを押して決定する。								
	4. [↵] つまみを回して名前を変更する曲を選び、[↵] つまみを押して決定する。								
	5. 名前を変更する。								
	<table><tr><td>変更する文字を選ぶ</td><td>[↵] つまみを回す</td></tr><tr><td>文字を変える</td><td>[↵] つまみを押す (決定) → [↵] つまみを回す (文字変更) → [↵] つまみを押す (戻る)</td></tr><tr><td>1 文字挿入する</td><td>[▶/■] ボタンを押す</td></tr><tr><td>1 文字削除する</td><td>[●] ボタンを押す</td></tr></table>	変更する文字を選ぶ	[↵] つまみを回す	文字を変える	[↵] つまみを押す (決定) → [↵] つまみを回す (文字変更) → [↵] つまみを押す (戻る)	1 文字挿入する	[▶/■] ボタンを押す	1 文字削除する	[●] ボタンを押す
	変更する文字を選ぶ	[↵] つまみを回す							
	文字を変える	[↵] つまみを押す (決定) → [↵] つまみを回す (文字変更) → [↵] つまみを押す (戻る)							
	1 文字挿入する	[▶/■] ボタンを押す							
1 文字削除する	[●] ボタンを押す								
6. [↵] つまみを回して画面右端の ✓ を選び、[↵] つまみを押して決定する。 確認メッセージが表示されます。									
7. [↵] つまみを回して「はい」を選び、[↵] つまみを押して決定する。 名前の変更を実行します。									
※ 画面に「実行中・・・」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。									
8. [⊗] ボタンを押す。 ファンクション・モードを終了します。									
録音した曲をコピーする	内部メモリーに保存されている曲を USB メモリーにコピーします。または USB メモリーに保存されている曲を内部メモリーにコピーします。								
	1. [⊗] ボタンを押す。 [⊗] ボタンが点灯し、ファンクション・モードになります。								
	2. [↵] つまみを回して「曲のコピー」画面を表示させ、 [↵] つまみを押して、決定する。								
	3. [↵] つまみを回してコピー元とコピー先のメディアを選び、[↵] つまみを押して決定する。								
	4. [↵] つまみを回して、コピーする曲を選ぶ。 中止するときは、[↵] ボタンを押します。								
	5. [↵] つまみを押す。 コピーが実行されます。								
	※ 画面に「実行中・・・」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。								
6. [⊗] ボタンを押す。 ファンクション・モードを終了します。									

さらに進んだ録音方法

片手ずつ演奏を録音する

左手の演奏を左手パート、右手の演奏を右手パートに録音することで、演奏を片手ずつ別々に録音することができます。



録音の準備

1. 演奏する音色を選びます。
2. 必要に応じてメトロノームを鳴らします。

メトロノームのテンポや拍子を設定します。メトロノームの設定は曲に記憶され、再生時も同じ設定で鳴らすことができます。

3. [●] ボタンを押します。

[●] ボタンが点灯、[▶/■] ボタンが点滅し、録音待機状態になります。

録音を中止するときは、もう一度 [●] ボタンを押します。

4. [パート] ボタンを押してから、録音しないパートを [♪] つまみを回して選び、[♪] つまみを押して消灯させます。

録音するパートのみ点滅した状態になります。

メモ

パートの設定をしなかった場合は、以下のように録音されます。

1 音色での演奏	「右手」パート
左手、右手を違う音色で演奏 (スプリット演奏)	左手音色は「左手」パート、右手音色は「右手」パート
2 つの音色を重ねて演奏 (デュアル演奏)	音色 1 は「右手」パート、音色 2 は「伴奏」パート

録音を始める／止める

5. [▶/■] ボタンを押します。

1 小節のカウントが鳴ってから録音が始まり、[●] ボタンと [▶/■] ボタンの両方が点灯します。演奏は自動で保存されます。

メモ

[▶/■] ボタンを押す代わりに、鍵盤を弾いて録音を始めることもできます。この場合カウントは鳴りません。

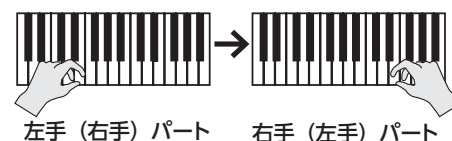
6. 録音を止めるときは、もう一度 [▶/■] ボタンを押します。

録音が止まります。

録音した演奏を重ねて録音する

片手で演奏した録音を重ねて、もう片方の手の演奏を録音することができます。

また、内蔵曲を重ねて録音することもできます。



録音の準備

1. [曲] ボタンを押します。

曲画面が表示されます。

メモ

小節画面が表示された場合は、[曲] ボタンを押すと曲を選ぶ画面に戻ります。

2. [♪] つまみを回して重ね録音する曲のカテゴリーを選び、[♪] つまみを押して決定します。
3. [♪] つまみを回して、重ね録音する曲を選びます。

カテゴリー内の曲が選べます。

メモ

内蔵曲に合わせて演奏して録音する場合は、内蔵曲のテンポを一定にして録音することができます (P.11)。

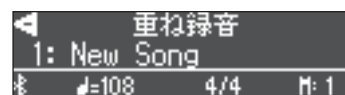
4. [●] ボタンを押します。

[●] ボタンが点灯、[▶/■] ボタンが点滅し、録音待機状態になります。

録音を中止するときは、もう一度 [●] ボタンを押します。

5. [♪] つまみを回して、「重ね録音」画面を表示させます。

手順 3 の曲が選ばれます。



6. [パート] ボタンを押してから、録音しないパートを [♪] つまみを回して選び、[♪] つまみを押して消灯させます。

録音するパートのみ点滅した状態になります。

録音を始める／止める

7. [▶/■] ボタンを押します。

1 小節のカウントが鳴ってから録音が始まり、[●] ボタンと [▶/■] ボタンの両方が点灯します。演奏は自動で保存されます。

メモ

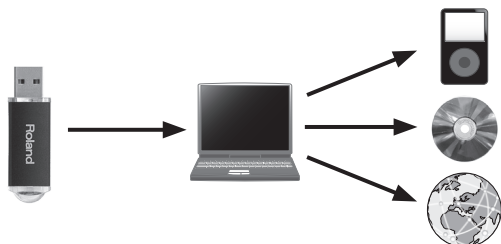
[▶/■] ボタンを押す代わりに、鍵盤を弾いて録音を始めることもできます。この場合カウントは鳴りません。

8. 録音を止めるときは、もう一度 [▶/■] ボタンを押します。

録音が止まります。

USB メモリーにオーディオ録音する

オーディオ録音すると、ピアノで演奏した曲をパソコンやオーディオ・プレーヤーで聴いたり、音楽 CD を作成したり、インターネットで公開したりできます。



録音の準備

1. USB メモリーを USB Memory 端子につなぎます。

- ※ オーディオ・データは、ピアノの内部メモリーに保存できません。
- ※ USB メモリーのアクセス・ランプが点滅している間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーや電源コードを抜いたりしないでください。

2. 演奏する音色を選びます。

3. [●] ボタンを押しながら [±] つまみを回して、「オーディオ」を選びます。

メモ

ファンクション・モードの「録音モード」から設定することもできます。(P.24)

4. [●] ボタンを押します。

[●] ボタンが点灯、[▶/■] ボタンが点滅し、録音待機状態になります。

録音を中止するときは、もう一度 [●] ボタンを押します。

5. 必要に応じてメトロノームを鳴らします。

録音を始める／止める

6. [▶/■] ボタンを押します。

録音が始まり、[●] ボタンと [▶/■] ボタンが点灯します。演奏は自動で保存されます。

注意

録音中は、絶対に電源を切ったり USB メモリーを抜いたりしないでください。

7. 録音を止めるときは、もう一度 [▶/■] ボタンを押します。

録音が止まります。

メモ

- 曲を削除することができます (P.12)。
- 曲の名前を変更することができます (P.12)。

🎵 好みのピアノの音を作る（ピアノデザイナー）

このピアノでは、さまざまな音の要素を調節して好みのピアノ音を作ることができます。
この機能を、「ピアノデザイナー」といいます。

メモ

好みのピアノの音を作る操作は、専用アプリからのタッチ操作でもできます。

➔ 「ピアノをアプリと一緒に使う」(P.18)



アプリ「ピアノデザイナー」



ピアノ全体の音の調節をする

1. [ピアノデザイナー] ボタンを押します。
2. [✖] つまみを回して、調節したい項目の画面を表示させます。
3. [✔] つまみを押して、決定します。
4. [✖] つまみを回して、設定値を選びます。
5. 設定を終了するときは、[ピアノデザイナー] ボタンを押します。

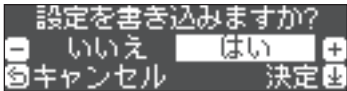
[ピアノデザイナー] ボタンが消灯します。

項目	設定値	説明
マスターチューニング	415.3Hz ~ 466.2Hz (初期値: 442.0Hz)	他の楽器とアンサンブルするときは、きれいなアンサンブルにするためピアノの基準ピッチを他の楽器に合わせることができます。基準ピッチとは、一般的に、中央 A (A4) の鍵盤を弾いたときの音の高さのことをいいます。他の楽器と基準ピッチを合わせることを「チューニング」といいます。
調律法	バロックなどの古典音楽を当時の調律法で演奏することができます。 現在では、平均律（現在最も一般的な調律法）を前提に作曲され、演奏されるのが基本となっていますが、古典音楽の時代にはいろいろな調律法が存在していました。当時の調律法で演奏してみると、その曲が本来もっている和音の響きを味わうことができます。	
	平均律 (初期値)	オクターブを均等に 12 分割してできた調律です。現在のピアノで最も一般的な調律法です。どの音程も同じくらいわずかな濁りが生じます。
	純正調（長） 純正調（短）	主要 3 和音が濁りのない調律です。メロディーの演奏には不向きで転調はできませんが、美しい和音の響きをもちます。純正調は長調と短調で調律が異なります。
	ピタゴラス音律	哲学者ピタゴラスによって考えられた 4 度と 5 度の濁りをなくした調律です。3 度の和音に濁りが生じますが、シンプルな旋律の曲に向きます。
	キルンベルガー I	キルンベルガー第一法。純正調と同様に主要 3 和音が純正な調律です。この調律法に適した調で書かれた曲を演奏すると美しい響きとなります。
	キルンベルガー II	キルンベルガー第二法。キルンベルガー第一法を修正して、使用できる調の制限を少なくした調律法です。
	キルンベルガー III	キルンベルガー第三法。中全音律と純正調を改良し、転調の自由度を高めた調律法です。すべての調での演奏ができます。調により響きかたが異なるため、平均律に比べて和音の響きが多彩になります。
	中全音律	長 3 度を純正に取り、5 度を純正よりわずかに狭めた調律法です。純正調では大全音と小全音の二種類の全音があるのに対し、この調律では一種類の全音（中全音）のみになります。限定された調の中で転調できます。
	ベルクマイスター	ベルクマイスター第一技法第三番。8 つの純正 5 度と 4 つの狭い 5 度からなる調律法です。すべての調での演奏ができます。調により響きかたが異なるため、平均律に比べて和音の響きが多彩になります。
	アラビア音階	アラビア音楽に適した調律です。
主音	C ~ B (初期値: C)	調律の主音を設定します（調律法主音）。平均律以外の調律法で演奏するときに、演奏する曲の調に合わせて主音（長調なら C、短調なら A にあたる音）を選びます。平均律を選んでいる場合は、主音を選ぶ必要はありません。
ハンマーレスポンス	オフ、1 ~ 10 (初期値: 1)	鍵盤を弾いてからピアノ音が鳴るまでの時間を調節します。値が大きくなるほど遅くなります。

グランドピアノ音色を調節する

弦やペダルの共鳴音、ハンマーが弦を叩く音など、グランドピアノのさまざまな音の要素を調節することができます。
※ [グランド] ボタンの音色のみ調節できます。

- 1. [ピアノデザイナー] ボタンを押します。
- 2. [⬇] つまみを回して、「ピアノ音色の設定」画面を表示させます。
- 3. [⬇] つまみを押して、決定します。
- 4. [⬇] つまみを回して、調節したい項目の画面を表示させます。
- 5. [⬇] つまみを押して決定し、[⬇] つまみを回して設定値を選びます。

- 6. ピアノ音色の設定を終了するときは、[⬅] ボタンを押します。
確認メッセージが表示されます。

中止するときは [⬅] ボタンを押します。
- 7. [⬇] つまみを回して「はい」を選び、[⬇] つまみを押して決定します。
グランドピアノ音色の設定が保存されます。

	項目	設定値	説明
ピアノ音色の設定	大屋根	0 ～ 6	グランドピアノの大屋根の開き具合を調節します。 画面上のピアノの大屋根が閉じていくほど、柔らかい音になります。 また、画面上のピアノの大屋根が開いていくほど明るい音になります。
	キーオフノイズ	オフ、1 ～ 10	鍵盤を離れたときに鳴る、アクション・ノイズを調節します。 値が大きいほどアクション・ノイズが大きくなります。
	ハンマーノイズ	-2 ～ 0 ～ +2	アコースティック・ピアノを弾いたときの、ハンマーが弦を叩く音を調節します。 値が大きいほどハンマーが弦を叩く音が大きくなります。
	アリコート	オフ、1 ～ 10	アコースティック・ピアノのアリコートが共鳴した音を調節します。 値が大きくなるほど共鳴音が大きくなります。 アリコートとは、グランドピアノにつけられることがある共鳴弦です。 共鳴弦は直接ハンマーで叩かれるのではなく、他の弦の振動に共鳴して鳴ります。弦の倍音を響かせることで、豊かで輝かしい音を得ることができます。このような共鳴弦はおおよそ C4 より上の音域の弦にだけついています。この共鳴弦には音を止める機構がないので、鍵盤を弾いたあと指を上げて弦の音を止めても、共鳴弦の音だけ残ることになります。
	全鍵ストリングレゾナンス	オフ、1 ～ 10	アコースティック・ピアノの弦共鳴（鍵盤を弾いたときに、すでに押さえている鍵の弦が共鳴する音や、ダンパー・ペダルを踏んだときに、弾いた鍵盤の音が他の弦に共鳴する音）を調節します。値が大きくなるほど、共鳴音が大きくなります。
	ダンパーレゾナンス	オフ、1 ～ 10	アコースティック・ピアノのダンパー・ペダルを踏んだときの、ピアノ全体のレゾナンス（弾いた鍵盤の音が他の弦に共鳴する音や、本体全体に共鳴する音）を調節します。 値が大きくなるほど共鳴音が大きくなります。
	キーオフレゾナンス	オフ、1 ～ 10	アコースティック・ピアノの鍵盤を離れたときの微妙な音などの共鳴音を調節します。 値が大きくなるほど、減衰時の音質変化が大きくなります。
	キャビネットレゾナンス	オフ、1 ～ 10	グランドピアノ本体の箱鳴り感を調節します。 値が大きくなるほど、箱鳴りが大きくなります。
	サウンドボードタイプ	1 ～ 5	アコースティック・ピアノの響板の響きかたを選びます。 響きかたの異なる、5 つのタイプから選ぶことができます。
	ダンパーノイズ	オフ、1 ～ 10	アコースティック・ピアノのダンパー・ペダルを踏んで、弦が解放されたときに鳴る音を調節します。
	88 鍵チューニング (※)	-50 ～ 0 ～ +50	1 鍵ごとの調律を調節できます。高音域はより高く、低音域はより低く調律するストレッチ・チューニングの幅を調節することもできます。
	88 鍵ボリューム (※)	-50 ～ 0	1 鍵ごとの音量を調節できます。値が小さくなるほど、音量が小さくなります。
	88 鍵キャラクター (※)	-5 ～ 0 ～ +5	1 鍵ごとの音質を調節できます。値が大きいほど硬い音になり、小さくすると柔らかい音になります。 ※ 音域によって効果のかかり方が異なります。
	設定のリセット	選んでいる音色の「ピアノ音色の設定」を、工場出荷時の設定に戻すことができます。	

88 鍵設定のしかた (※)

- 1. 88 鍵設定の項目の画面を表示させ、[⬇] つまみを押して決定します。

- 2. 設定する鍵を弾いてから、[⬇] つまみを回して設定値を変えます。
- 3. [⬅] ボタンを押して、項目の画面から抜けます。

ピアノとモバイル機器を Bluetooth でつなぐ



こんなことができます

Bluetooth 機能を使うと、スマートフォン/タブレットなどのモバイル機器とピアノが無線でつながり、次のことができます。

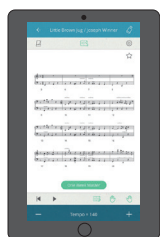
モバイル機器で再生した曲を、無線でピアノのスピーカーから鳴らすことができます。再生している曲に合わせて、ピアノ演奏することもできます。

→ 「ピアノのスピーカーで音楽を鳴らす」 (P.17)



ピアノをアプリと一緒に使うと、アプリにしかないさまざまなコンテンツを楽しむことができます。

→ 「ピアノをアプリと一緒に使う」 (P.18)



アプリ「Piano Every Day」

設定手順

ペアリング

ピアノとモバイル機器を無線でつなぐには、初めにピアノとモバイル機器を 1 対 1 でつなぐ「ペアリング」が必要です。「ペアリング」は、使いたいモバイル機器にピアノを登録する（お互いに認証する）ための手続きです。



ペアリングの流れ

「ピアノのスピーカーで音楽を鳴らす」場合と「ピアノをアプリと一緒に使う」場合は、それぞれにペアリング操作が必要です。ペアリングの流れが異なりますので、ご注意ください。



ピアノのスピーカーで音楽を鳴らす

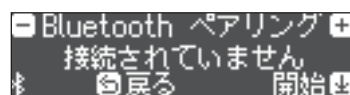
スマートフォンなどのモバイル機器に保存されている音楽データを、無線でピアノのスピーカーから鳴らす設定をします。ここでは、例として iOS 製品を使った設定方法を紹介します。

※ ピアノとのペアリングが済んだモバイル機器は、再度ペアリングする必要はありません。「ペアリング済みのモバイル機器を接続する」(P.18) の手順をご覧ください。

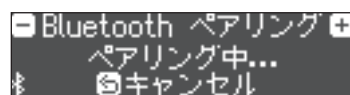
ペアリングする

1. 接続したいモバイル機器をピアノ周辺に置きます。
2. ピアノの [⚙] ボタンを押します。
[⚙] ボタンが点灯し、ファンクション・モードになります。
3. [⏮] つまみを回して「Bluetooth」画面を表示させ、[⏭] つまみを押して決定します。

以下の画面が表示されます。



4. [⏭] つまみを押して、ペアリングを開始します。



ペアリングをやめる場合は、[⏮] ボタンを押します。

5. モバイル機器の設定で、Bluetooth 機能をオンにします。



6. モバイル機器の Bluetooth 「デバイス」 欄に表示される「HP704 Audio」または「HP702 Audio」をタップします。

ピアノとモバイル機器がペアリングされます。ペアリングが完了すると、以下のように表示されます。

モバイル機器	「自分のデバイス」欄に「HP704 Audio」または「HP702 Audio」が追加される
ピアノ	画面に「接続完了」と表示され、Bluetooth マークの横に「AUDIO」と表示される

7. ピアノの [⚙] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。

ペアリングは完了です。

音楽データを再生する

モバイル機器で音楽データを再生すると、ピアノのスピーカーから音が鳴ります。

メモ

オーディオの音量を調節する場合は、モバイル機器側で調節します。それでも思ったような音量にならないときはピアノ側の設定で調節することができます。

➡ 「Input/Bluetooth ボリューム」 (P.22)

ペアリング済みのモバイル機器を接続する

1. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。

ピアノとモバイル機器が無線でつながります。
※ 上記の操作で接続ができなかった場合は、モバイル機器の「デバイス」欄に表示されている「HP704 Audio」または「HP702 Audio」をタップしてください。

ピアノをアプリと一緒に使う

このピアノと一緒に使えるアプリ

アプリ名	対応 OS	説明
 Piano Every Day	iOS Android	電子楽譜をダウンロードしたり、ゲーム感覚で曲の練習をしたり、練習の記録をつけたりすることができます。 
 Piano Designer	iOS Android	好みのピアノの音を作るアプリです。「ピアノデザイナー」(P.15) のさまざまな音の要素をアプリからタッチ操作で調節できます。 
 Music Data Browser	iOS	ローランドの電子楽器向けミュージック・データの視聴や購入、転送ができます。 

- ※ アプリは、App Store (iOS 製品)、Google Play (Android 製品) からダウンロードできます。
- ※ 上記以外にも、Bluetooth MIDI 対応の音楽アプリ (Garage Band など) を使うことができます。
- ※ 上記は、本書発行時点での当社製アプリの情報を掲載しています。最新情報については、ローランド・ホームページをご覧ください。

ペアリングする

モバイル機器にインストールしたアプリとピアノと一緒に使う設定をします。ここでは、例として iOS 製品を使ってアプリ「Piano Every Day」を使うときの手順を紹介します。
※ 「ピアノをアプリと一緒に使う」場合は、ピアノ側の設定は不要です。アプリからの操作でピアノとペアリングをします。

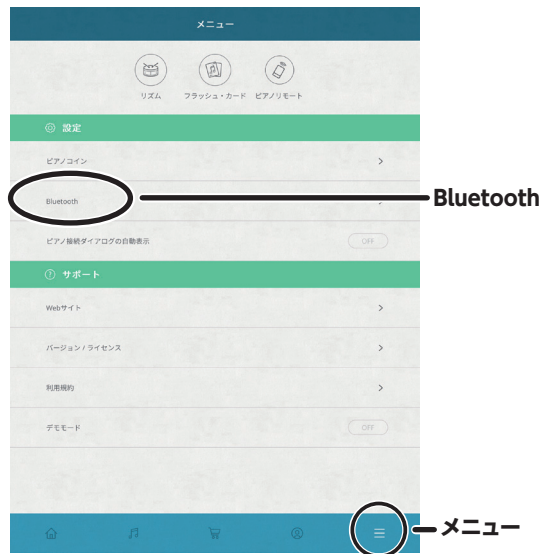
1. モバイル機器の設定で、Bluetooth 機能をオンにします。



注意

「デバイス」欄に、お使いの製品名 (「HP704 MIDI」など) が表示されてもタップしないでください。

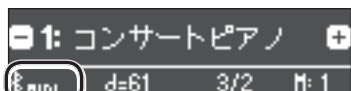
- 2. モバイル機器にインストールしたアプリを起動します。
- 3. アプリ画面右下のメニューをタップし、メニュー画面の「Bluetooth」をタップします。



モバイル機器の画面に「HP704 MIDI」または「HP702 MIDI」が表示されます。

4. お使いの製品名「HP704 MIDI」または「HP702 MIDI」をタップします。

ピアノとモバイル機器がペアリングされます。ペアリングが完了すると、以下のように表示されます。

モバイル機器	「自分のデバイス」欄に「HP704 MIDI」または「HP702 MIDI」が追加される
ピアノ	画面の Bluetooth マークの横に「MIDI」と表示される 

アプリと一緒に使う Bluetooth 接続ができないときは？

「ピアノをアプリと一緒に使う」(P.18) のペアリングがうまくいかないときは、以下の手順をお試しください。

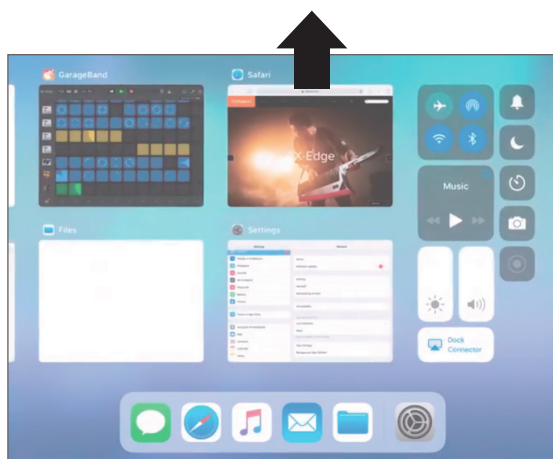
- ❶ ピアノの Bluetooth 機能が「オン」になっているか確認する
- ❷ モバイル機器のすべてのアプリを終了する
- ❸ ペアリングされている場合は一度解除し、Bluetooth 機能をオフにする
- ❹ P.18 のペアリング手順 1 からやり直す。

- ❶ ピアノの Bluetooth 機能が「オン」になっているか確認する
 1. ピアノの [⚙️] ボタンを押します。
[⚙️] ボタンが点灯し、ファンクション・モードになります。
 2. [⏮️] つまみを回して「Bluetooth」画面を表示させ、[⏮️] つまみを押して決定します。
Bluetooth の設定画面に入ります。
 3. [⏮️] つまみを回して、「Bluetooth オン/オフ」画面を表示させ、[⏮️] つまみを押して決定します。
 4. [⏮️] つまみを回して、「オン」を選びます。
ピアノの Bluetooth 機能がオンになりました。
 5. [⚙️] ボタンを押します。
[⚙️] ボタンが消灯して、ファンクション・モードが終了します。

❷ モバイル機器のすべてのアプリを終了する

アプリ終了方法

ホームボタンをダブルクリックして、アプリ画面を上からスワイプします。



❸ ペアリングされている場合は一度解除し、Bluetooth 機能をオフにする

ペアリングの解除方法

1. モバイル機器画面の「接続済み」横にある「i」をタップして、「このデバイスの登録を解除」をタップします。



2. Bluetooth スイッチをオフにします。



❹ P.18 のペアリング手順 1 からやり直す

うまくペアリングできないときの手順を確認してもアプリと接続できない場合は、P.29 に記載のローランドお客様相談センターにお問い合わせください。

ピアノを複数台お持ちの場合は

音楽教室など、ピアノが複数台ある場所でモバイル機器とペアリングする場合は、各ピアノに ID (識別番号) を設定することができます。

ID (識別番号) の設定方法

この設定をすると、モバイル機器に製品名が表示される際、末尾に識別番号が付きます。
(「HP704 Audio 1」「HP704 MIDI 1」など)

1. [⚙️] (設定) ボタンを押します。
2. [⏮️] つまみを回して「Bluetooth」画面を表示させ、[⏮️] つまみを押して決定します。
3. [⏮️] つまみを回して、「Bluetooth ID」を選びます。
4. [⏮️] つまみを押して決定し、[⏮️] つまみを回して番号を変えます。

識別番号	説明
0 ~ 99	「0」に設定: 「HP704 Audio」「HP704 MIDI」(初期値) 「1」に設定: 「HP704 Audio 1」「HP704 MIDI 1」

※ ピアノが複数台ある場所でペアリングするときは、ペアリングするピアノとモバイル機器のみ電源を入れることをお勧めします (他の機器の電源は切ってください)。

ピアノの設定を読み込む／保存する

自分のピアノの設定を USB メモリーに保存したり、USB メモリーに保存されたピアノの設定を読み込んだりすることができます。

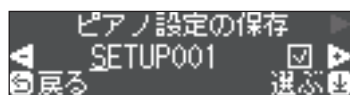
※ 同じ型番のピアノのみ、設定を読み込むことができます。

保存される設定

設定	ページ
スピーカーの音量	P.6
ヘッドホンの音量	P.7
音のひびき	P.9
音の明るさ	P.9
ヘッドホン 3D アンビエンス	P.9
キータッチ	P.10
マスターチューニング	P.15
調律法	P.15
主音	P.15
ハンマーレスポンス	P.15
ピアノ音色の設定	P.16
ボリュームリミット	P.25

ピアノの設定を保存する (ピアノ設定の保存)

1. USB メモリーを USB Memory 端子につなぎます。
2. [⚙] ボタンを押します。
[⚙] ボタンが点灯し、ファンクション・モードになります。
3. [⏮] つまみを回して「ピアノ設定の保存」画面を表示させ、[⏮] つまみを押して決定します。
ピアノ設定の保存画面が表示されます。



4. ピアノ設定の名前を変更します。

変更する文字を選ぶ	[⏮] つまみを回す
文字を変える	[⏮] つまみを押す (決定) → [⏮] つまみを回す (文字変更) → [⏮] つまみを押す (戻る)
1 文字挿入する	[▶/■] ボタンを押す
1 文字削除する	[●] ボタンを押す

5. [⏮] つまみを回して画面右端の ✓ を選び、[⏮] つまみを押して決定します。
保存が実行されます。

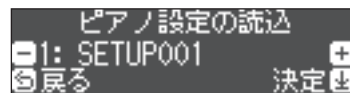
注意

画面に「実行中…」と表示されている間は、絶対に USB メモリーを抜いたり電源を切ったりしないでください。

6. [⚙] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。
[⚙] ボタンが消灯します。

ピアノ設定を読み込む (ピアノ設定の読込)

1. USB メモリーを USB Memory 端子につなぎます。
2. [⚙] ボタンを押します。
[⚙] ボタンが点灯し、ファンクション・モードになります。
3. [⏮] つまみを回して「ピアノ設定の読込」画面を表示させ、[⏮] つまみを押して決定します。
ピアノ設定の読込画面が表示されます。



4. [⏮] つまみを回して、読み込むピアノ設定を選びます。
5. [⏮] つまみを押して、決定します。
確認メッセージが表示されます。



中止するときは [⏮] ボタンを押します。

6. [⏮] つまみを回して「はい」を選び、[⏮] つまみを押して決定します。
読み込みが実行されます。

注意

画面に「実行中…」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

7. [⚙] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。
[⚙] ボタンが消灯します。

メモリーを初期化する（メディアのフォーマット）

内部メモリーまたは USB メモリー（別売）に保存されているすべてのファイルを消去することができます。

注意

- 初期化すると、内部メモリーまたは USB メモリーに保存されているファイルはすべて消えてしまいます。
- メモリーの内容以外の設定をお買い上げ時の設定に戻すときは、ファクトリーリセット（P.21）をしてください。

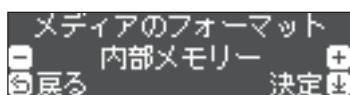
1. USB メモリーを初期化する場合、USB メモリーを USB Memory 端子につなぎます。

2. [⚙] ボタンを押します。

[⚙] ボタンが点灯し、ファンクション・モードになります。

3. [⏮] つまみを回して「メディアのフォーマット」画面を表示させ、[⏮] つまみを押して決定します。

メディアのフォーマット画面が表示されます。



中止するときは [⏮] ボタンを押します。

4. [⏮] つまみを回して、初期化するメディア（内部メモリーまたは USB メモリー）を選びます。

5. [⏮] つまみを押して、決定します。

確認メッセージが表示されます。



中止するときは [⏮] ボタンを押します。

6. [⏮] つまみを回して「はい」を選び、[⏮] つまみを押して決定します。

初期化が実行されます。

注意

画面に「実行中…」と表示されている間は、絶対に USB メモリーを抜いたり電源を切ったりしないでください。

7. [⚙] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。

[⚙] ボタンが消灯します。

お買い上げ時の設定に戻す（ファクトリーリセット）

ピアノに保存されている設定を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。この機能を「ファクトリーリセット」といいます。

注意

「ファクトリーリセット」後、それまで記憶していた設定はすべて消え、お買い上げ時の設定になります。リセットされる設定項目については、「電源を入れ直しても記憶している設定」（P.26）をご覧ください。

メモ

この操作をしても、内部メモリーまたは USB メモリー（別売）のファイルは消えません。内部メモリーや、USB メモリーのファイルをすべて消すときは「メモリーを初期化する（メディアのフォーマット）」（P.21）をご覧ください。

1. [⚙] ボタンを押します。

[⚙] ボタンが点灯し、ファンクション・モードになります。

2. [⏮] つまみを回して「ファクトリーリセット」画面を表示させ、[⏮] つまみを押して決定します

確認メッセージが表示されます。



中止するときは [⏮] ボタンを押します。

3. [⏮] つまみを回して「はい」を選び、[⏮] つまみを押して決定します。

ファクトリーリセットが実行されます。

注意

画面に「実行中…」と表示されている間は、絶対に電源を切らないでください。

4. 電源を入れ直します。

いろいろな設定をする（ファンクション・モード）

ファンクション・モードの基本設定

1. [⚙] ボタンを押します。
[⚙] ボタンが点灯し、ファンクション・モードになります。
2. [↺] つまみを回して、設定する項目の画面を表示させます。
3. [↺] つまみを押して、決定します。
※ 選んだ項目によっては、さらに項目を選ぶ画面が表示される場合があります。
4. [↺] つまみを回して、設定値を選びます。
5. [⚙] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。
[⚙] ボタンが消灯します。

表示	設定値	説明	
Bluetooth に関する設定			
Bluetooth	Bluetooth オン／オフ	Bluetooth 機能をオン／オフする（Bluetooth オン／オフ）	
		Bluetooth 機能をオンにすると、ピアノとモバイル機器を無線で接続して、モバイル機器で再生した曲をピアノのスピーカーから鳴らしたり、アプリと一緒に使ったりすることができます。（P.17）	
		オン、オフ	
	Bluetooth ペアリング	「ピアノのスピーカーで音楽を鳴らす」ときに、ピアノとモバイル機器を無線でつなぐペアリングをします。（P.17）	
	Input/Bluetooth ボリューム	Bluetooth オーディオの音量を調節する（Input/Bluetooth ボリューム）	
		モバイル機器に保存されている音楽を、ピアノのスピーカーから鳴らすときの音量の設定です。（P.18）	
	0 ～ 10		
Bluetooth ID	ピアノが複数台ある場所で Bluetooth 機能を使う場合は、各ピアノに ID（識別番号）を設定することができます。（P.19）		
	0 ～ 99		
鍵盤に関する設定			
鍵盤モード	全鍵	通常のアコースティック・ピアノと同じ鍵盤設定です。	
	スプリット	右手と左手を違う音色で演奏する（スプリット演奏）	
		ある鍵を境に鍵盤の左側と右側を違う音色で演奏することができます。このような演奏を「スプリット演奏」といいます。（P.8）	
		右手音色	右手の音色を選びます。
		左手音色	左手の音色を選びます。 ※左手音色に「グランド」ボタンの音色を選ぶと、聞こえ方が変わります。
		ポイント	左右の音色が分かれる位置（鍵）を選びます。
		バランス	左手音色と右手音色の音量バランスを選びます。
		左手シフト	左手で弾く音の高さを、オクターブ単位で上げたり下げたりします。
	右手シフト	右手で弾く音の高さを、オクターブ単位で上げたり下げたりします。	
	デュアル	1 つの鍵盤で 2 つの音色を重ねて演奏する（デュアル演奏）	
		1 つの鍵盤で、2 つの音色を重ねて演奏することができます。このような演奏を「デュアル演奏」といいます。（P.9）	
		音色 1	音色 1 を選びます。
		音色 2	音色 2 を選びます。 ※音色 2 に「グランド」ボタンの音色を選ぶと、聞こえ方が変わります。
		バランス	2 つの音色の音量バランスを選びます。
音色 1 シフト		音色 1 の音の高さを、オクターブ単位で上げたり下げたりします。	
音色 2 シフト		音色 2 の音の高さを、オクターブ単位で上げたり下げたりします。	

表示	設定値		説明
ツインピアノ	鍵盤を 2 つに分けて演奏する（ツインピアノ）		
	鍵盤を左右に分けて、2 人が同時に同じ音域を演奏することができます。一人がお手本を弾き、もう一人がそれを見ながら練習するといった使い方ができます。また、ツインピアノで演奏するときの鳴りかた（モード）を変えることもできます。 ※「ブランド」ボタンの音色を選べると、聞こえかたが変わります。		
	オフ	通常のアコースティック・ピアノと同じ鍵盤設定です。	
	オン	モード	ツインピアノのモードを選ぶには、ファンクション・モードのツインピアノ画面で「オン」を選んだあと以下の操作をします。 (1) [≡] ボタンを 2 回押して「ツインピアノ」画面を表示させる → (2) [♪] つまみを押し、画面の「音色」の左右に「-」「+」を表示させる → (3) [♪] つまみを右に回して「モード」画面にアクセスする → (4) [♪] つまみを押して決定し、[♪] つまみを回して「ペアモード」か「セパレート」かを選ぶ
		ペアモード	右側領域の音は右スピーカーが大きく、左側領域の音は左スピーカーが大きく鳴ります。
		セパレート	右側領域の音は右スピーカーからのみ、左側領域の音は左スピーカーからのみ鳴ります (HP704 ではヘッドホンを使うと相手側の演奏は聞こえません)。
鍵盤の移調	鍵盤の音域を、半音単位で高くしたり低くしたりできます。 歌の伴奏や弾き語りをすると、演奏する鍵盤の位置を変えずに歌う人の音域に合わせることができます。		
	-6 ～ 0 ～ +5		
曲の再生に関する設定			
曲の移調	再生する曲を移調する（曲の移調）		
	再生する曲を半音単位で移調します。(P.11) -12 ～ 0 ～ +12		
曲ボリューム SMF	曲（SMF）の音量を調節する（曲ボリューム SMF）		
	曲を再生しながら鍵盤演奏するときの音量設定です。再生する曲（SMF データ）の音量を調節します。 0 ～ 10		
曲ボリューム AUDIO	曲（オーディオ）の音量を調節する（曲ボリューム AUDIO）		
	曲を再生しながら鍵盤演奏するときの音量設定です。再生する曲（オーディオ・データ）の音量を調節します。 0 ～ 10		
Input/Bluetooth ボリューム	オーディオ再生機器の音量を調節する（Input/Bluetooth ボリューム）		
	曲を再生しながら鍵盤演奏するときの音量設定です。Input 端子にオーディオ再生機器をつないだときの、オーディオ再生機器からの音量を調節します。 0 ～ 10		
SMF 再生モード	曲（SMF）再生時の鍵盤の音色を設定する（SMF 再生モード）		
	曲を再生しながら、鍵盤演奏するときの音色設定です。通常は「自動選択」でお使いください。 ファイル形式が SMF の曲を再生するとき、内蔵曲と外部データのどちらに最適な設定にするかを選びます。 メモ [▶/■] ボタンを押しながら [♪] つまみを回して、SMF 再生モードを切り替えることもできます。 ※SMF 再生モードを「外部データ」に設定しているときは、一部の音の効果がわからないため、通常の鍵盤演奏時と音質が異なっていて聞こえることがあります。		
	自動選択	再生する曲に合わせて、「内蔵曲」か「外部データ」に自動で切り替わります。	
	内蔵曲	曲を再生すると、鍵盤演奏する音色は曲に記録されている音色に変わります。 内蔵曲やこのピアノで録音した曲を再生するときにお勧めです。	
	外部データ	曲を再生しても、鍵盤演奏する音色は変わりません。 市販のミュージックデータなどの外部データを再生するときにお勧めです。	

いろいろな設定をする（ファンクション・モード）

表示	設定値	説明
録音に関する設定		
録音モード	このピアノは、2 通りのモードで録音することができます。SMF で録音するか、オーディオで録音するかを選びます。 メモ [●] ボタンを押しながら [⌵] つまみを回して、録音モードを切り替えることもできます。	
	SMF	演奏を内部メモリーに録音し、ピアノで再生します。右手の演奏に重ねて左手の演奏を録音したり、あとで両手合わせた演奏を聞いたりできます。(P.12)
	オーディオ	演奏を USB メモリーに音声データとして録音します。ピアノで録音した演奏を、パソコンやオーディオ・プレーヤーで聴いたり、CD を作成したり、インターネットで公開したりすることができます。(P.14)
曲の削除	ピアノの内部メモリーや USB メモリーに保存された曲を削除します。(P.12)	
曲の名前変更	保存した曲の名前を変更できます。(P.12)	
曲のコピー	ピアノの内部メモリーに保存されている曲を USB メモリーに、または USB メモリーに保存されている曲を内部メモリーにコピーします。(P.12)	
カウント・イン小節	曲再生と録音開始前に鳴らす、カウントの小節数を変更することができます。	
	1 小節、2 小節	
ペダルに関する設定		
右ペダルパート	ペダルの効果のかけかたを変える（右ペダルパート） デュアル演奏やスプリット演奏のときに右ペダルを踏むと、2 つの音色の両方にペダルの効果がかかります（P.8）。この設定をすると、効果かける音色を選ぶことができます。ペダルに機能を割り当てると、演奏中にペダルを踏んで瞬時に設定を変えることができます。	
	右手 & 左手	両方の音色に有効
	右手	音色 1（デュアル演奏時）／右手音色（スプリット演奏時）にのみ有効
	左手	音色 2（デュアル演奏時）／左手音色（スプリット演奏時）にのみ有効
中央ペダル機能	ペダルのはたらきを変える（中央ペダル機能） 電源を入れた状態では、中央のペダルはソステヌート・ペダルとしてはたらきます（P.7）。これを、さまざまなはたらきに変えることができます。ペダルに機能を割り当てると、演奏中にペダルを踏んで瞬時に設定を変えることができます。	
	ソステヌート	ソステヌート・ペダルのはたらきをします。
	再生／停止	[▶/■] ボタンと同じはたらきをします。
	レイヤー	ペダルを踏むとデュアル演奏時の音色 2 が重なって鳴ります。 ※デュアル演奏時のみ効果がかけられます。
左ペダル機能	ペダルの効果のかけかたを変える（左ペダル機能） 電源を入れた状態では、左側のペダルはソフト・ペダルとしてはたらきます（P.7）。これを、さまざまなはたらきに変えることができます。ペダルに機能を割り当てると、演奏中にペダルを踏んで瞬時に設定を変えることができます。	
	ソフト	ソフト・ペダルのはたらきをします。
	再生／停止	[▶/■] ボタンと同じはたらきをします。
	レイヤー	ペダルを踏むとデュアル演奏時の音色 2 が重なって鳴ります。 ※デュアル演奏時のみ効果がかけられます。
MIDI に関する設定		
ローカルコントロール	シーケンサーとつないだときの 2 度鳴りを防ぐ（ローカルコントロール） USB で MIDI シーケンサーに接続したときには、この項目でローカル・オフを設定します。 通常のシーケンサーはスルー機能がオンに設定されているため、鍵盤を弾いた音が 2 重に聴こえたり、途切れたりします。これを防ぐために鍵盤と内部の音源を切り離すことを、「ローカル・オフ」といいます。	
	オフ	ローカルコントロールがオフになります。 鍵盤が内部の音源と切り離された状態です。鍵盤を弾いても音は鳴りません。
	オン	ローカルコントロールがオンになります。鍵盤が内部の音源とつながっている状態です。

表示	設定値	説明
MIDI 送信 チャンネル	MIDI 送信チャンネルを変える（MIDI 送信チャンネル）	
	このピアノが送信する MIDI チャンネルを設定します。 なお、このピアノは 1 ～ 16 のすべてのチャンネルを受信します。	
	オフ、1 ～ 16	
使用環境に関する設定		
言語 (Language)	ディスプレイに表示される言語を変える（言語（Language））	
	画面に表示される音色名や設定などの言語を選ぶことができます。 English、Japanese	
ディスプレイ コントラスト	ディスプレイの明るさを調節する（ディスプレイコントラスト）	
	ディスプレイの明るさを調節することができます。 1 ～ 10	
スクリーン セーバー	操作パネルが暗くなるまでの時間を設定する（スクリーンセーバー）	
	一定時間操作しないと、操作パネルのボタン LED とディスプレイが暗くなります。 暗くなるまでの時間を設定することができます。 オフ、30 秒、1 分、5 分、10 分	
ボリュームリ ミット	音量の最大値を設定する（ボリュームリミット）	
	音量の最大値を設定します。意図せず大きな音が鳴ってしまうことを防ぐことができます。 メモ [◀]] つまみを押しながら [♪] つまみを回して、ボリュームリミットを設定することもできます。	
	20、40、60、80、100	
鍵盤蓋による 電源オフ	蓋を閉めたときに電源をオフにする（鍵盤蓋による電源オフ）	
	蓋を閉めたときに、電源をオフにするかしないかを選ぶことができます。	
	無効	蓋を閉めても、電源はオフになりません。電源をオフにするときは、[⏻] ボタンを押します。 ※ オートオフを設定している場合は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます。
	有効	蓋を閉めると、電源がオフになります。
オートオフ	一定時間が経つと自動で電源が切れるようにする（オートオフ）	
	このピアノは演奏や操作をやめてから 30 分経過すると、自動的に電源が切れます（工場出荷時の設定）。 自動で電源を切る必要がない場合は、この機能を「オフ」に設定します。 オフ、10、30、240（分）	
	自動で設定を保存する（自動メモリーバックアップ）	
自動メモリー バックアップ	電源を入れ直しても設定が変わらないように、自動で設定を保存しておくことができます。	
	オフ	設定を保存しません。電源を入れ直すと設定が初期値に戻ります。
	オン	自動で設定を保存します。電源を入れ直すたびに設定をやり直す必要がないため、便利です。 保存される設定については、「[自動メモリーバックアップ] で保存される設定」（P.26）をご覧ください。
ピアノ設定の 保存	自分のピアノの設定を USB メモリーに保存したり、USB メモリーに保存されたピアノの設定を読み込んだりすることができます。（P.20）	
ピアノ設定の 読込	※ 同じ型番のピアノのみ、設定を読み込むことができます。	
メディアの フォーマット	ピアノの内部メモリーまたは USB メモリー（別売）に保存されているすべてのファイルを消去することができます。（P.21）	
ファクトリーリ セット	ピアノに保存されている設定を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。（P.21）	
バージョン	このピアノのシステム・プログラムのバージョンを表示させます。 新しいシステム・プログラムが公開された場合は、アップデートすることができます。詳細は以下の URL からご覧ください。 https://www.roland.com/jp/support/ 製品名入力→「アップデーター&ドライバー」参照	

電源を入れ直しても記憶している設定

このピアノは、電源を入れ直しても「自動で保存される設定」は記憶しています。また、「自動メモリーバックアップ」の設定をすると、「自動メモリーバックアップ」で保存される設定も記憶しておくことができます。これら以外の設定は、電源を入れ直すと初期値に戻ります。

自動で保存される設定

このピアノは、以下の設定が自動で保存されます。電源を入れ直しても設定を記憶しています。

設定	ページ
スピーカーの音量	P.6
ヘッドホンの音量	P.7
Bluetooth オン／オフ	P.22
Bluetooth ID	P.22
鍵盤蓋による電源オフ	P.25
オートオフ	P.25

「自動メモリーバックアップ」で保存される設定

「自動メモリーバックアップ」機能（P.25）をオンにすると、以下の設定が保存されます。

設定	ページ
音のひびき	P.9
音の明るさ	P.9
ヘッドホン 3D アンビエンス	P.9
キータッチ	P.10
マスターチューニング	P.15
調律法	P.15
主音	P.15
ハンマーレスポンス	P.15
バランス（スプリット、デュアル）	P.8
メトロノーム（音量、音色、強拍）	P.10
ツインピアノ・モード	P.23
Input/Bluetooth ボリューム	P.22
SMF 再生モード	P.23
右ペダルパート	P.24
MIDI 送信チャンネル	P.25
言語	P.25
ディスプレイコントラスト	P.25
スクリーンセーバー	P.25
ボリュームリミット	P.25

ボタンが効かないようにする（パネル・ロック）

演奏中に意図せず設定が変わってしまうことを防ぐため、[🔒] ボタンと [🔧] つまみ以外のボタンを効かなくすることができます。

パネルをロックする	画面に「🔒」マークが表示されるまで、[🔧] ボタンを長押しする
ロックを解除する	画面の「🔒」が消えるまで、[🔧] ボタンを長押しする

故障かな?と思ったら

症状	確認事項	原因／対策	ページ
ピアノの音に関するトラブル			
音が鳴らない	音量が小さくなっていませんか？	音量を上げてください。	P.6
	ヘッドホン端子にヘッドホンや変換プラグを差していませんか？	ヘッドホン端子にヘッドホンや変換プラグを接続しているときは、スピーカーから音が出ません。	-
	ヘッドホンや外部スピーカーから音を鳴らす場合は、機器が正しく接続されていますか？		P.5
	「ローカルコントロール」の設定が「オフ」になっていませんか？	ファンクション・モードで「ローカルコントロール」を「オン」にしてください。	P.24
鍵盤や曲の音程、ピッチがずれている	移調の設定をしていませんか？	ファンクション・モードの「鍵盤の移調」、「曲の移調」の設定で、移調を解除してください。	P.23
	チューニングの設定は適切ですか？	お買い上げ時の基準ピッチは、「442.0Hz」に設定されています。ピアノデザイナー機能の「マスターチューニング」の設定を確認してください。	P.15
	調律法の設定は適切ですか？	お買い上げ時の調律法は、「平均律」に設定されています。ピアノデザイナー機能の「調律法」の設定を確認してください。	P.15
	88 鍵チューニングの設定は適切ですか？	ピアノデザイナー機能「ピアノ音色の設定」の 88 鍵設定を確認してください。	P.16
鍵盤を弾くと 2 つの音が鳴る	2 つの音色を重ねる「デュアル演奏」の設定がされていませんか？	ファンクション・モードで「鍵盤モード」を選び、「デュアル」を「全鍵」に変更してください。	P.22
	外部シーケンサー等に接続していませんか？	別の音源から鳴らないようにするには、お使いの音楽制作ソフトウェアの「ソフト・スルー」の設定を「オフ」にしてください。	-
		ファンクション・モードで「ローカルコントロール」が「オン」になっている場合は、「ローカルコントロール」を「オフ」にしてください。	P.24
音の響き効果をオフにしても残響音がする	アコースティック・ピアノの奥行きや響きも忠実に再現しているため、故障ではありません。音の響き効果をオフにしても、アコースティック・ピアノ本来の響きが残ります。	ピアノデザイナー機能の「キャビネットレゾナンス」の値を下げることで残響音を少なくすることもできます。	P.16
高音部で、ある鍵盤から音が急に変わる	アコースティック・ピアノの特徴を再現しているため、故障ではありません。鍵あたりの弦の本数や、巻線／単線の境目では音色が変わります。		-
鍵盤を押したとき、押していない鍵盤の音もかすかに聞こえる	鳴らしている音の倍音（整数倍の振動数をもつ音）が共鳴して、響きが変わったように聞こえる場合がありますが、故障ではありません。	ピアノデザイナー機能の「全鍵ストリングレゾナンス」の設定値を下げるか、「オフ」にしてください。	P.16
「キーン」という音がする	ヘッドホンからは聞こえないとき ピアノに何らかの問題があると考えられます。お買い上げ店またはローランドお客様相談センターにお問い合わせください。 ヘッドホンからも聞こえるとき 「キーン」という金属的な響きを少なくするには、以下の設定を調整してください。 ・音のひびき (P.9) ・ピアノデザイナー「全鍵ストリングレゾナンス」 (P.16)		-
低音がおかしい／ビリビリと共鳴する	音量を最大にしていませんか？	音量を最大にすると、演奏方法によっては音がひずむことがあります。その場合は、音量を下げてください。	P.6
	ヘッドホンからも聞こえるとき ピアノに何らかの問題があると考えられます。お買い上げ店またはローランドお客様相談センターにお問い合わせください。 ヘッドホンからは聞こえないとき スピーカーから出力される音が大きいために、ピアノ周辺のものが共鳴しています。共鳴を抑えるには、次のことにご注意ください。 ・音量を抑える。 ・ピアノを壁などから 10 ～ 15cm 離して設置する。 ・共鳴している器具などから遠ざける。		-
音色の設定によって聞こえかたが変わる	2 つの音色を重ねる「デュアル演奏」や左手と右手で違う音色にする「スプリット演奏」では、音色の組み合わせによって聞こえかたが変わることがあります。組み合わせによって左手音色、音色 2 にエフェクトがかからないため、故障ではありません。		-

故障かな？と思ったら

症状	確認事項	原因／対策	ページ
ペダルに関するトラブル			
ペダルを踏んだときに異音が出る	ペダル下にあるアジャスターが床から浮いていませんか？	ペダルを使用するにつれ、アジャスターがゆるんだ可能性があります。アジャスターを下げて、床に当たるように調節してください。カーペットの上などに設置しているときは、床面を強く押しつける（床に突っ張る）ぐらいに下げてください。	P.7
ペダルが効かない／効きっぱなしになる	ペダル・コードが正しく接続されていますか？	ピアノ背面にあるペダル端子を確認してください。	P.5
	ピアノの電源を入れたまま、ペダル・コードを抜き差ししていませんか？	ピアノの電源を入れたままペダル・コードを抜くと、ペダルの効果がかったままになることがあります。ペダル・コードを抜き差しするときは、ピアノの電源を切ってください。	-
	ペダルの効果のかけかたを変えていませんか？	右ペダルパートを「右手」に設定していると右手音色のみ、「左手」に設定していると左手音色のみに効くようになります。	P.24
	「ツインピアノ」がオンになっていませんか？	「ツインピアノ」をオンにすると、右ペダルは右側鍵盤のみ、左ペダルは左側鍵盤のみに効くようになります。	-
	ペダルののはたらきを変えていませんか？	ソステヌート・ペダル(中央ペダル)またはソフト・ペダル(左ペダル)のはたらきを変えていると、ソステヌート・ペダルまたはソフト・ペダルとしてはお使いいただけません。 「中央ペダル機能」「左ペダル機能」の設定を戻してください。	P.24
曲の再生に関するトラブル			
曲の中の、ある楽器の音だけが鳴らない	「パート」ボタンを押すと、画面上で消えているパート（右手、左手、伴奏）はありませんか？	画面上で消えているパートの音は鳴りません。消えているパートを選んでハイライト表示させ、音が鳴るようにしてください。	P.11
曲が鳴らない／音量が小さい	「曲のボリューム」の値が小さくなっていますか？	曲のデータ形式によって、「曲のボリューム SMF」または「曲ボリューム AUDIO」の値を上げてください。	P.23
「曲ボリューム」の値を変えても音量が変わらない	「SMF 再生モード」を「内蔵曲」に設定していませんか？	「SMF 再生モード」を「外部データ」に設定してください。	P.23
曲を再生すると選んでいる音色が変わってしまう	「SMF 再生モード」を「内蔵曲」に設定していませんか？	「SMF 再生モード」を「外部データ」に設定してください。	P.23
USB メモリーに保存されている曲を再生できない	ファイルの拡張子は「.WAV」、「.MP3」または「.MID」ですか？	このピアノで再生できるファイルは、WAV 形式または MP3 形式のオーディオ・ファイルと、MIDI ファイルの 3 種類です。	-
USB メモリーに保存されているファイルの曲名が表示されない	ファイルの拡張子は「.MID」ですか？ また、ファイル内の曲名情報が空もしくはスペースのみにいませんか？	MIDI ファイルのみピアノ画面に曲名を表示できます。ファイル内の曲名情報が空もしくはスペースのみの場合は、ピアノ画面に曲名は表示されません。	-
録音に関するトラブル			
録音できない	「パート」ボタンを押して、録音するパートが画面で点滅していますか？	画面上で録音するパートを選んで、点滅している状態にしてください。	P.13
オーディオ録音できない	USB Memory 端子に USB メモリーをつないでいますか？	オーディオ録音は、USB メモリーをつながないとできない仕様になっています。	-
録音と再生で音量が違う	「曲のボリューム」の値が小さくなっていますか？	曲のデータ形式によって、「曲のボリューム SMF」または「曲ボリューム AUDIO」の値を上げてください。	P.23
録音するとピアノの音質が変わってしまう	ピアノデザイナー機能で作った音色で録音していませんか？	ピアノデザイナー機能の一部の設定は、曲を再生したときに再現されないことがあります。	-
	USB メモリーにオーディオ録音した曲を再生していませんか？	鍵盤演奏するときと同じ音質で録音したい場合は、SMF 録音してください。	-
その他のトラブル			
ヘッドホンを使って消音しても、鍵盤を弾くとカタカタ鳴る	このピアノの鍵盤は、アコースティック・ピアノの構造をシミュレートして設計されています。アコースティック・ピアノの場合でも、鍵盤を押したときに打鍵音が実際に出ています。打鍵音がカタカタ鳴っていても故障ではありません。		-
電源が勝手に切れる	一定時間使用していないと電源を自動的に切る設定がされていませんか？	自動で電源を切る必要がない場合は、オートオフ機能の設定を「オフ」にしてください。	P.25
電源が勝手に入る	このピアノは蓋を開けると電源が入り、蓋を閉めると電源が切れる仕様になっています。		P.6
電源が入らない	電源コードが正しく接続されていますか？		P.5
操作パネルのボタンが効かない	誤操作を防ぐ「パネル・ロック」が設定されていませんか？	「パネル・ロック」を解除してください。	P.26
Input 端子につないだ機器の音量が小さい	つないでいる機器の音量が小さくなっていますか？		-
	Input/Bluetooth ボリュームが小さくなっていますか？		P.23

🎵 こんな表示が出たら（エラー・メッセージ）

表示	意味
エラー 2	書き込み中にエラーが発生しました。USB メモリーが破損している可能性があります。 別の USB メモリーを挿入して、もう一度操作してください。または、USB メモリーを初期化してください。（「メモリーを初期化する（メディアのフォーマット）」（P.21））
	内部メモリーが破損している可能性があります。内部メモリーを初期化してください。（「メモリーを初期化する（メディアのフォーマット）」（P.21））
エラー 10	USB メモリーが挿入されていません。 USB メモリーを挿入してから、もう一度操作してください。
	内部メモリーが破損している可能性があります。内部メモリーを初期化してください。「メモリーを初期化する（メディアのフォーマット）」（P.21）
エラー 11	保存先の空き容量が足りません。 別の USB メモリーを挿入するか、不要なファイルを削除して、もう一度操作してください。
エラー 14	読み込み中にエラーが発生しました。USB メモリーが破損している可能性があります。 別の USB メモリーを挿入して、もう一度操作してください。または、USB メモリーを初期化してください。（「メモリーを初期化する（メディアのフォーマット）」（P.21））
	内部メモリーが破損している可能性があります。内部メモリーを初期化してください。「メモリーを初期化する（メディアのフォーマット）」（P.21）
エラー 15	ファイルを読むことができません。本機が対応していないデータ形式です。
エラー 18	対応していないオーディオ・フォーマットです。 WAV 形式（44.1kHz、16 ビット・リニア）または MP3 形式のオーディオ・ファイルを使用してください。
エラー 30	本機の記憶容量が足りません。
エラー 40	MIDI から一度にたくさんの MIDI データが送られてきたため、本機で処理できません。 MIDI から送信されるデータ量を減らしてください。
エラー 43	MIDI 通信でエラーが発生しました。 つないでいる MIDI 機器を確認してください。
エラー 51	システムに異常がある可能性があります。 操作をやり直してください。何度か操作をやり直してもこの表示が出る場合は、ローランドお客様相談センターにご連絡ください。
エラー 65	USB Memory 端子に過大な電流が流れました。 USB メモリーに異常がないか確認したあと、電源を入れ直してください。

お問い合わせの窓口

● 製品に関するお問い合わせ先

ローランドお客様相談センター **050-3101-2555**

電話受付時間： 月曜日～金曜日 10:00～17:00（弊社規定の休日を除く）

※IP電話からおかけになって繋がらない場合には、お手数ですが、電話番号の前に“0000”（ゼロ4回）をつけてNTTの一般回線からおかけいただくか、携帯電話をご利用ください。

※上記窓口の名称、電話番号等は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

● 最新サポート情報

製品情報、イベント／キャンペーン情報、サポートに関する情報など

ローランド・ホームページ <https://www.roland.com/jp/>

’16. 10. 01 現在（Roland）

音色一覧

グランド

No.	音色名
1	コンサートピアノ
2	バラードピアノ
3	メロウピアノ
4	ブライトピアノ

アップライト

No.	音色名
1	アップライト
2	メロウ UP
3	ブライト UP
4	ロックピアノ
5	ラグタイムピアノ

クラシカル

No.	音色名
1	チェンバロ
2	チェンバロ 8'+4'
3	フォルテピアノ
4	メロウフォルテ
5	ブライトフォルテ

E. ピアノ

No.	音色名
1	ステージ EP
2	トレモロ EP
3	ポップ EP
4	ビンテージ EP
5	FM E. ピアノ
6	EP ベル
7	60's EP
8	クラビ
9	ステージフェイザー
10	70's EP
11	E. グランド

その他

No.	音色名
ストリングス	
1	スロー Str1
2	エピック Str
3	リッチ Str
4	オーケストラ Str
5	オーケストラ
6	ウインズ
7	ハーブ
8	バイオリン
9	アタック Str
10	フルート
11	チェロ
12	Orch プラス
13	ピチカート
14	スロー Str2
15	ソフトパッド
16	マジカルピアノ
17	ジャズスキャット
18	ベース+シンバル
オルガン	
19	パイプオルガン
20	ネイゾンフルート
21	コンボオルガン
22	バラードオルガン
23	チャーチオルガン 1
24	チャーチオルガン 2
25	ゴスペルスピン
26	フルストップ
27	メロウバー
28	ライトオルガン
29	ロワーオルガン
30	60's オルガン

No.	音色名
ドレミ	
31	ドレミ 2#
32	ドレミ 2b
33	ドレミ 1#
34	ドレミ 1b
ドラム	
35	Std セット
36	ルーム・セット
37	パワー・セット
38	Elec セット
39	アナログ・セット
40	ジャズ・セット
41	ブラシ・セット
42	Orch セット
43	SFX セット
GM2	
44	ピアノ 1
45	ピアノ 1w
46	ピアノ 1d
47	ピアノ 2
48	ピアノ 2w
49	ピアノ 3
50	ピアノ 3w
51	ホンキートンク
52	ホンキートンク w
53	E. ピアノ 1
54	デチューン EP1
55	ビンテージ EP
56	60's E. ピアノ
57	E. ピアノ 2
58	デチューン EP2
59	St.FM EP
60	EP レジェンド
61	EP フェーザー
62	ハーブシコード
63	カップルドハーブシ
64	ハーブシコード w
65	ハーブシコード o
66	クラビ
67	パルス・クラビ
68	チェレスタ
69	グロッケン
70	オルゴール
71	ビブラフォン
72	ビブラフォン w
73	マリンバ
74	マリンバ w

No.	音色名
75	木琴
76	チューブラーベル
77	チャーチ・ベル
78	カリヨン
79	サントウール
80	オルガン 1
81	トレモロオルガン
82	60's オルガン
83	オルガン 2
84	パーカスオルガン 1
85	コーラスオルガン
86	パーカスオルガン 2
87	ロック・オルガン
88	チャーチオルガン 1
89	チャーチオルガン 2
90	チャーチオルガン 3
91	リード・オルガン
92	パフ・オルガン
93	アコーディオン 1
94	アコーディオン 2
95	ハーモニカ
96	バンドネオン
97	ナイロン弦ギター
98	ウクレレ
99	ナイロンギター o
100	ナイロンギター 2
101	スチール弦ギター
102	12 弦ギター
103	マンドリン
104	スチール + ボディ
105	ジャズ・ギター
106	ハワイアンギター
107	グリーン・ギター
108	コーラスギター 1
109	ミッドトーン Gt
110	ミュート・ギター
111	ファンクギター 1
112	ファンクギター 2
113	コーラスギター 2
114	オーバードライブ Gtr
115	ギター・ピンチ
116	ディストーション Gtr
117	フィードバック 1
118	Dist リズム Gtr
119	Gt ハーモニクス
120	フィードバック 2
121	A. ベース

No.	音色名
122	フィンガーベース
123	フィンガー Slp
124	ピック・ベース
125	フレットレス Bs
126	スラップベース 1
127	スラップベース 2
128	シンセ・ベース 1
129	ウォーム・ベース
130	シンセ・ベース 3
131	クラビ・ベース
132	ハンマー・ベース
133	シンセ・ベース 2
134	シンセ・ベース 4
135	ラバー・ベース
136	アタック・パルス
137	バイオリン
138	スローバイオリン
139	ビオラ
140	チェロ
141	コントラバス
142	トレモロ Str
143	ピチカート
144	ハープ
145	ヤンチン
146	ティンパニ
147	ストリングス
148	オーケストラ
149	60's ストリングス
150	スロー Str
151	シンセ Str1
152	シンセ Str3
153	シンセ Str2
154	クワイア 1
155	クワイア 2
156	ボイス
157	ハミング
158	シンセ・ボイス
159	アナログ・ボイス
160	Orch ヒット
161	ベース・ヒット
162	6th ヒット
163	ユーロ・ヒット
164	トランペット
165	ダーク Tp
166	トロンボーン 1
167	トロンボーン 2
168	ブライツ Tb

No.	音色名
169	チューバ
170	ミュート Tp1
171	ミュート Tp2
172	フレンチホルン 1
173	フレンチホルン 2
174	ブラス 1
175	ブラス 2
176	シンセ・ブラス 1
177	シンセ・ブラス 3
178	アナログブラス 1
179	ジャンプ・ブラス
180	シンセ・ブラス 2
181	シンセ・ブラス 4
182	アナログブラス 2
183	ソプラノサックス
184	アルト・サックス
185	テナー・サックス
186	バリトンサックス
187	オーボエ
188	Eng ホルン
189	バスーン
190	クラリネット
191	ピッコロ
192	フルート
193	リコーダー
194	パン・フルート
195	ボトル・ブロー
196	尺八
197	ホイッスル
198	オカリナ
199	Sqr リード 1
200	Sqr リード 2
201	サイン・リード
202	ソー・リード 1
203	ソー・リード 2
204	ドクター・ソロ
205	ナチュラルリード
206	シーケンス・ソー
207	シンセ・カリオペ
208	チファー・リード
209	チャラング
210	ワイヤー・リード
211	ソロ・ボックス
212	5th ソーリード
213	ベース + リード
214	ディレイ・リード
215	ファンタジア

No.	音色名
216	ウォーム・パッド
217	サイン・パッド
218	ポリシンセ
219	スペース・ボイス
220	アイトピア
221	ボウ・グラス
222	メタリックパッド
223	ハロー・パッド
224	スウィープパッド
225	アイス・レイン
226	サウンドトラック
227	クリスタル
228	シンセ・マレット
229	アトモスフィア
230	ブライツネス
231	ゴブリン
232	エコー・ドロップ
233	エコー・ベル
234	エコー・パン
235	スター・テーマ
236	シタール 1
237	シタール 2
238	バンジョー
239	三味線
240	琴
241	大正琴
242	カリンバ
243	バッグパイプ
244	フィドル
245	シャナイ
246	ティンクル・ベル
247	アゴゴ
248	スチール・ドラム
249	ウッドブロック
250	カスタネット
251	太鼓
252	大太鼓
253	Melo タム 1
254	Melo タム 2
255	シンセ・ドラム
256	TR-808 タム
257	E パーカッション
258	リバースシンバル
259	フレット・ノイズ
260	Gt カットノイズ
261	スラップ・ノイズ
262	プレス・ノイズ

No.	音色名
263	キー・クリック
264	波
265	雨
266	雷
267	風
268	せせらぎ
269	泡
270	鳥の声 1
271	犬の鳴き声
272	馬の疾走
273	鳥の声 2
274	電話のベル 1
275	電話のベル 2
276	ドアのきしみ
277	ドア
278	スクラッチ
279	ウィンドチャイム
280	ヘリコプター
281	車のエンジン
282	車の急停止
283	車の通過音
284	車の衝突
285	サイレン
286	列車
287	ジェット機
288	宇宙船
289	バースト・ノイズ
290	拍手
291	笑い声
292	叫び声
293	パンチ
294	心臓の鼓動
295	足音
296	ピストル
297	マシンガン
298	レーザーガン
299	爆発音

内蔵曲一覧

No.	曲名	作者
リスニング		
1	献呈	シューマン、リスト編曲
2	革命のエチュード	ショパン
3	舟歌	ショパン
4	ひばり	グリンカ、バラキレフ編曲
5	ピアノ・ソナタ 第23番「熱情」第1楽章	ベートーベン
6	ピアノ・ソナタ 第23番「熱情」第2楽章	ベートーベン
7	ピアノ・ソナタ 第23番「熱情」第3楽章	ベートーベン
8	ワルツ 作品34-1	ショパン
9	英雄ポロネーズ	ショパン
10	ノクターン 第20番	ショパン
11	ます	シューベルト、リスト編曲
12	水の反映	ドビュッシー
13	亜麻色の髪の乙女	ドビュッシー
14	ラ・カンパネラ	リスト
15	スケルツォ 第2番	ショパン
アンサンブル ※楽譜集『ローランド ピアノ名曲集』に対応しています。		
1	ピアノ協奏曲 第1番 *	チャイコフスキー
2	ピアノ協奏曲 第2番 *	ラフマニノフ
3	パッヘルベルのカノン (ジャズ・アレンジ) *	パッヘルベル
4	シンリエンヌ (ジャズ・アレンジ) *	フォーレ
5	ドリーより「子守歌」	フォーレ
6	マ・メール・ロワより「妖精の園」	ラヴェル
7	四季より「春」 *	ビバルディ
8	軍隊行進曲 *	シューベルト
9	眠れる森の美女より「ワルツ」 *	チャイコフスキー
10	魔法使いの弟子 *	デュカス
11	愛のあいさつ	エルガー
12	亡き王女のためのパヴァーヌ	ラヴェル
13	メヌエットト長調	J.S. バッハ
14	前奏曲	J.S. バッハ
15	トルコ行進曲	モーツァルト
16	エリーゼのために	ベートーベン
17	トルコ行進曲	ベートーベン
18	歌の翼に	メンデルスゾーン
19	別れの曲	ショパン
20	小犬のワルツ	ショパン
21	幻想即興曲	ショパン
22	トロイメライ	シューマン
23	お人形の夢と目覚め	オースティン
24	婚礼の合唱	ワーグナー
25	愛の夢 第3番	リスト
26	ハンガリア舞曲 第5番	ブラームス
27	月の光	ドビュッシー

No.	曲名	作者
28	アラベスク 第1番	ドビュッシー
29	グリヴォッグのケーキウォーク	ドビュッシー
30	おまえが欲しい	サティ
エンターテイメント ※楽譜集『ローランド ピアノ名曲集』に対応しています。		
1	いつか王子様が	フランク・チャーチル
2	ハイ・ホー	フランク・チャーチル
3	ミッキーマウス・マーチ	ジミー・ドッド
4	レット・イット・ゴー～ありのままで～	クリスティン・アンダーソン＝ロペス、ロバート・ロペス
5	アンダー・ザ・シー	アラン・メンケン
6	アンパンマンのマーチ	三木 たかし
7	夢をかなえてドラえもん	黒須 克彦
8	さんぽ	久石 譲
9	だったん人の踊り	ボロディン
10	オンブラ・マイ・フ	ヘンデル
11	私を泣かせてください	ヘンデル
12	きらきら星	フランス民謡
13	メリーさんのひつじ	外国曲
14	もりのくまさん	アメリカ民謡
15	山の音楽家	ドイツ民謡
16	大きな古時計	ヘンリー・ワーク
17	花	滝 廉太郎
18	浜辺の歌	成田 為三
19	紅葉	岡野 貞一
20	雪	文部省唱歌
21	ハッピー・バースディ	M. ヒル、P. ヒル
22	ジングル・ベル	ピアポント
23	クリスマスおめでとう	クリスマス・キャロル
24	きよしこの夜	フランツ・グルーバー
25	蛍の光	トラディショナル
26	ラベンダーズ・ブルー	トラディショナル
27	オーラ・リー	ジョージ・R・プールトン
28	アメイジング・グレイス	讃美歌
29	茶色の小瓶	ジョセフ・ウィナー
30	聖者が街にやってくる	アメリカ民謡
31	グリーン・スリープス	トラディショナル
32	恋に落ちた時	ビクター・ヤング
33	朝日のごとくさわやかに	シグマンド・ロンバーク
34	時の過ぎゆくままに	ハーマン・フップフェルド
35	サマータイム	ジョージ・ガーシュイン
36	ムーンライト・セレナーデ	グレン・ミラー
37	メープル・リーフ・ラグ	スコット・ジョップリン
38	エンターテイナー	スコット・ジョップリン
39	ティコ・ティコ	ゼキーニャ・ジ・アブレウ
40	二人でお茶を	ビンセント・ユーマンス

No.	曲名	作者
ドレミでうたおう ※楽譜集『ローランド ピアノ名曲集』に対応しています。		
1～15	練習 1～15	ローランド株式会社
16	きらきら星	フランス民謡
17	ぶんぶんぶん	トラディショナル
18	かえるの合唱	ドイツ民謡
19	かっこう	トラディショナル
20	おお!スザンナ	フォスター
21	手をたたきましょう	トラディショナル
22	これはなんとすばらしい音だ	モーツァルト
23	ブラームスの子守歌	ブラームス
24	スケーターズ・ワルツ	ワルトトイフェル
25	メヌエット	バッハ
26	故郷の人々	フォスター
27	ひいらぎかざろう	讃美歌
28	ダニー・ボーイ	アイルランド民謡
29	コロブチカ	ロシア民謡
30	さくらさくら	日本古謡
スケール ※楽譜集『ローランド ピアノ名曲集』に対応しています。		
1～36	長調、短調 (ハーモニック、メロディック)	ー
ハノン		
1～20	1～20 番	ハノン
バイエル		
1～106	1～106 番	バイエル

No.	曲名	作者
ブルグミュラー		
1	素直な心	ブルグミュラー
2	アラベスク	
3	牧歌	
4	子供のパーティー	
5	無邪気	
6	前進	
7	清いながれ	
8	優美	
9	狩	
10	やさしい花	
11	せきれい	
12	お別れ	
13	なぐさめ	
14	スティリエンヌ	
15	バラード	
16	小さな嘆き	
17	おしゃべり	
18	不安	
19	アヴェ・マリア	
20	タランテラ	
21	天使の声	
22	舟歌	
23	家路	
24	つばめ	
25	貴婦人の乗馬	
ツェルニー 100 番		
1 ～ 100	1 ～ 100 番	ツェルニー

- ※著作権の都合上、「エンターテインメント」カテゴリーの一部の楽曲は楽譜集に掲載されていません。
- ※これらの内蔵曲を個人で楽しむ以外に権利者の許諾なく使用することは、法律で禁じられています。
- ※(*) マークの付いている曲はローランド株式会社によるアレンジです。著作権はローランド株式会社が所有しています。
- ※リスニング・カテゴリーはピアノ・ソロ曲です。伴奏はついていません。
- ※ ハノン～ツェルニー 100 番は市販の楽譜をお買い求めください。
- ※音色デモや内蔵曲の演奏データは、USB Computer 端子と Bluetooth (MIDI) からは出力されません。
- ※SMF 再生モード (P.23) を「内蔵曲」に設定しているときは、曲ボリューム SMF (P.23) の値を変えても音量が変わらないパートがあります。SMF 再生モードを「外部データ」に設定すると、すべてのパートの音量が変化します。

火災・感電・傷害を防止するには

⚠ 警告と ⚠ 注意の意味について

 警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
 注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表しています。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表しています。具体的な注意内容は、△の中に描かれています。左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘は、禁止（してはいけないこと）を表しています。具体的な禁止内容は、⊘の中に描かれています。左図の場合は、「分解禁止」を表しています。
	●は、強制（必ずすること）を表しています。具体的な強制内容は、●の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

----- 以下の指示を必ず守ってください -----

警告

Auto Off 機能について

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます（Auto Off 機能）。自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を解除してください（P.25）。



付属の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。



付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。



注意

移動するときの注意

本機を移動するときは以下のことを確認したあと、必ず 2 人以上で水平に持ち上げて運んでください。このとき、手をはさんだり、足の上に落としたりしないように注意してください。



- ・電源がオフになっていることを確認する。
- ・機器本体とスタンドを固定しているネジがゆるんでいないか、確認する。ゆるんでいる場合は、しっかり固定する。
- ・電源コードをはずす。
- ・外部機器との接続をはずす。
- ・スタンドのアジャスターを上げる（P.7）。
- ・蓋を閉じる。
- ・譜面立てをはずす（HP702 のみ）。
- ・譜面立てを倒す（HP704 のみ）。

指などをはさまないように注意する

下記の可動部を操作するときは、指などをはさまないように注意してください。お子様が使用されるときは、大人のかたが監視／指導してください。



- ・鍵盤蓋（P.6）
- ・譜面立て（P.6）
- ・ペダル（P.7）

椅子を使用するときの注意

椅子を使用するときは、必ず次の事項を守ってください。

- ・椅子で遊んだり、踏み台にしたりしない。
- ・2 人以上で腰掛けない。
- ・腰掛けたままで、高さ調節しない。
- ・椅子の足を止めているボルトがゆるんでいたら、腰掛けない。（ゆるみがあるときは随時付属の工具で締め直してください）
- ・シート下の隙間（昇降装置の金属部）には絶対に手を入れないでください。手をはさんだりけがをしたりする恐れがあります。



注意

小さな部品はお子様の手の届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪く誤って飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。



- ・付属品
ネジ類

使用上のご注意

電源について

- AC アダプターは、インジケーターのある面が上になるように設置してください。AC アダプターをコンセントに接続すると、インジケーターが点灯します。

設置について

- 至近距離から照らす照明器具（ピアノ・ライトなど）や強力なスポット・ライトで長時間同じ場所を照らさないでください。変形、変色することがあります。
- 鍵盤の上にもものを置いたままにしないでください。発音しなくなるなど、故障の原因になります。

お手入れについて

- 本機のペダルは真鍮（しんちゅう）製です。真鍮は酸化して黒ずむ性質があります。酸化した場合のお手入れには、市販の金属みがきをお使いください。

（鏡面仕上げ）

- 本機の塗装は鏡面仕上げになっており、美しい表面は、高級木工家具同様デリケートですので、正しい定期的なお手入れが必要です。必ず以下に従ってお手入れをしてください。
 - お手入れは、柔らかい布やピアノ用の毛ばたきで軽く拭いてください。小さな砂ぼこりでも、強く拭くと細かなすり傷が付くことがありますのでご注意ください。
 - 仕上げ面の艶（つや）がなくなってきたときは、外装手入れ剤を含ませた柔らかい布でムラなく拭きあげてください。
 - 各種洗剤などは、塗装面を変質させ、ひび割れなどの原因となりますので使用しないでください。また化学ぞうきんは使わないでください。
- 外装手入れ剤についてのご注意
 - ご使用方法については、外装手入れ剤の取扱説明書をご覧ください。
 - 必ずピアノ鏡面塗装用のものをご利用ください。それ以外のものを利用すると、傷や変形・変色などの原因となります。お求めは、最寄りの楽器店にご相談ください。
 - 本機の鏡面仕上げ部分にのみ使用し、表面全体を均一の力で丹念に拭いてください。同じところばかり強くこすると、仕上げ面の光沢を損なう恐れがあります。
 - 幼児の手の届かないところに保管してください。万が一飲み込んでしまった場合は、直ちに吐かせてください。その後、医師の診断を受けてください。

（鏡面仕上げ以外）

- お手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、固く絞った布で汚れを拭き取ってください。木目にそって全体を均一の力で拭くようにします。同じ所ばかり強くこすると、仕上げを損なうことがあります。

鍵盤の取り扱いについて

- ペンなどで書き込みをしたり、印を付けたりしないでください。インクが表面のラインに染み込んで落ちなくなります。
- シールなどを貼ったりしないでください。粘着力の強いものでは、シールがはがれなくなったり、粘着剤によって変色したりすることがあります。
- ひどい汚れを落とすときは、研磨剤が入っていない市販の鍵盤クリーナーを使ってください。はじめは軽く拭くようにします。汚れが落ちないときは、傷がつかないように徐々に力を入れながら拭くようにしてください。

修理について

- 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 8 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- ディスプレイを強く押ししたり、叩いたりしないでください。
- 演奏時の打鍵音や振動は床や壁を通じて意外によく伝わります。周囲に迷惑がからないように注意しましょう。
- 譜面立てを使用するときは、譜面立てに強い力を加えないでください。
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

外部メモリーの取り扱い

- 外部メモリーを使うときは次の点に注意してください。また、外部メモリーに付属の注意事項を守ってお使いください。
 - 読み込み中や書き込み中には取りはずさない。
 - 静電気による破損を防ぐため、取り扱う前に身体に帯電している静電気を放電しておく。

電波に関する注意

- 以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解／改造する
 - 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがす
 - 本製品を購入した国以外で使用する
- 本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）や特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して、万一、本機が原因と思われる有害な電波干渉の事例が発生した場合には、電波の発射を停止した上で、混信回避のための処置等（たとえば、パーティションの設置など）についてローランドお客様相談センターにご相談ください。
- その他、発生した問題についてお困りの場合も、ローランドお客様相談センターにご相談ください。
- ※ ローランドお客様相談センターへの連絡につきましては、取扱説明書などに記載の「お問い合わせの窓口」をご覧ください。

- 認証取得済みの特定無線設備を搭載しています。

知的財産権について

- 第三者の著作物（音楽作品、映像作品、放送、実演、その他）の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。
- 第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（音色波形データ、スタイル・データ、伴奏パターン、フレーズ・データ、オーディオ・ループ、画像データなど）の著作権は当社が保有しています。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（ただしデモ曲などの楽曲データは除く）を素材として、お客様が新たな作品を制作、演奏、録音、配布をすることに関しては、当社の許諾を必要としません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、コンピューター・ネットワークを通じて公開したりすることはできません。
- 本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム「eParts™」が搭載されています。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ローランドはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- 本製品は、T-Engine フォーラム（www.tron.org）の T-License 2.0 に基づき μ T-Kernel ソースコードを利用しています。
- 本製品は Jansson（http://www.digip.org/jansson/）ソースコードを使用しています。Copyright © 2009-2016 Petri Lehtinen <petri@digip.org> Released under the MIT license http://opensource.org/licenses/mit-license.php
- Roland, SuperNATURAL, Piano Every Day は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

